

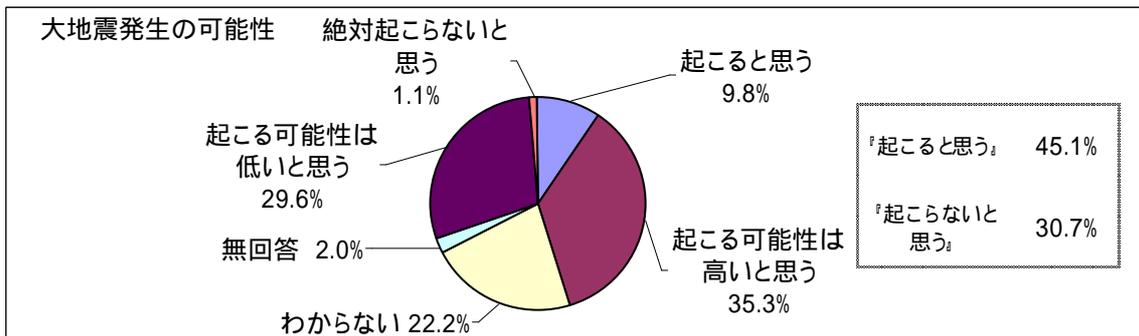
1.1 震災に対する意識

(1) 大震災発生の可能性

問 16 あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に 印をつけてください。

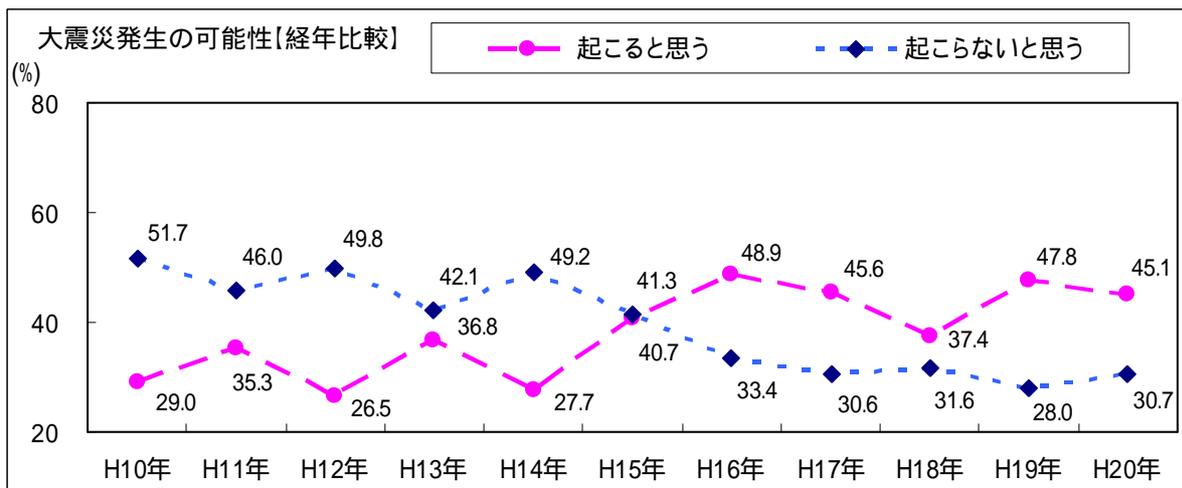
- | | |
|----------------|--------------|
| 1 起こると思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 2 起こる可能性は高いと思う | 5 わからない |
| 3 起こる可能性は低いと思う | |

今後 10 年間で大地震が起こる可能性については、「起こる可能性は高いと思う」(35.3%)が最も多く、「起こると思う」(9.8%)と合わせた『起こると思う』(45.1%)は 4 割台半ばである。一方、「起こる可能性は低いと思う」(29.6%)と「絶対起こらないと思う」(1.1%)と合わせた『起こらないと思う』(30.7%)は 3 割に止まるが、「わからない」(22.2%)との回答が 2 割を超えている。



経年比較

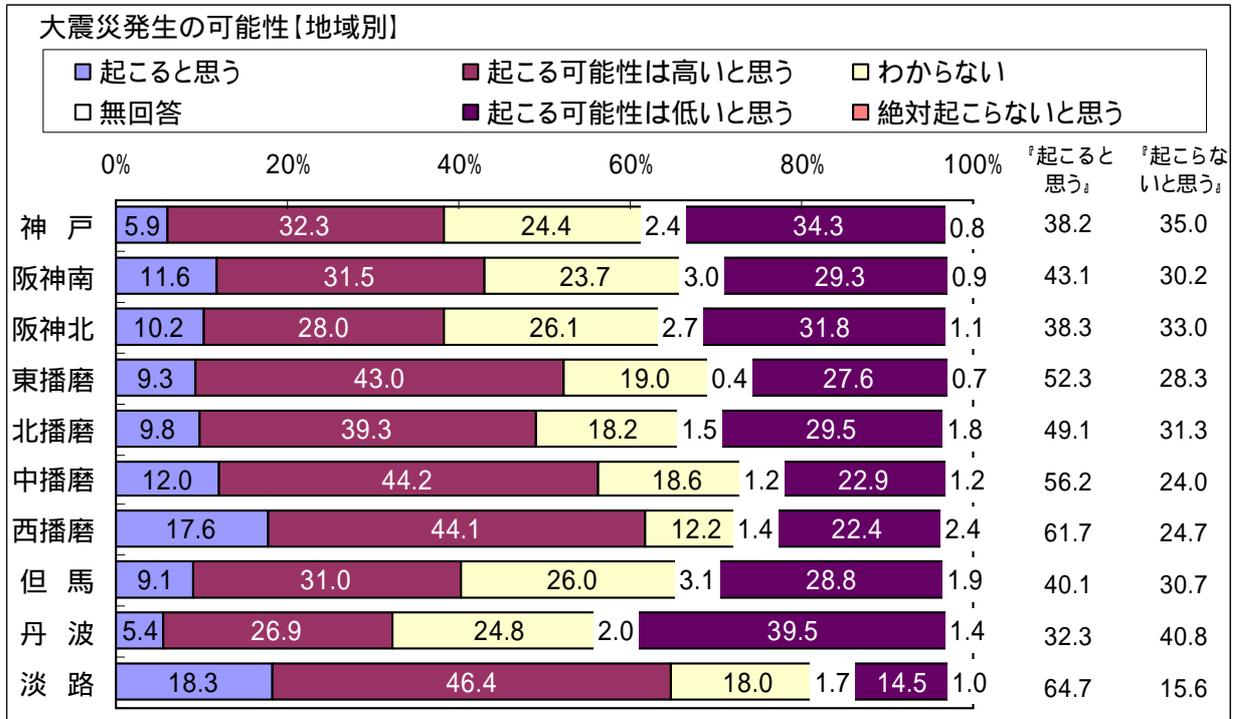
『起こると思う』は、過去 2 番目の水準にあった前年より 2.7 ポイント減少(47.8% → 45.1%)し、『起こらないと思う』は、過去最低であった前年より 2.6 ポイント増加(28.0% → 30.7%)しており、どちらも平成 17 年と同じような水準にある。



地域別

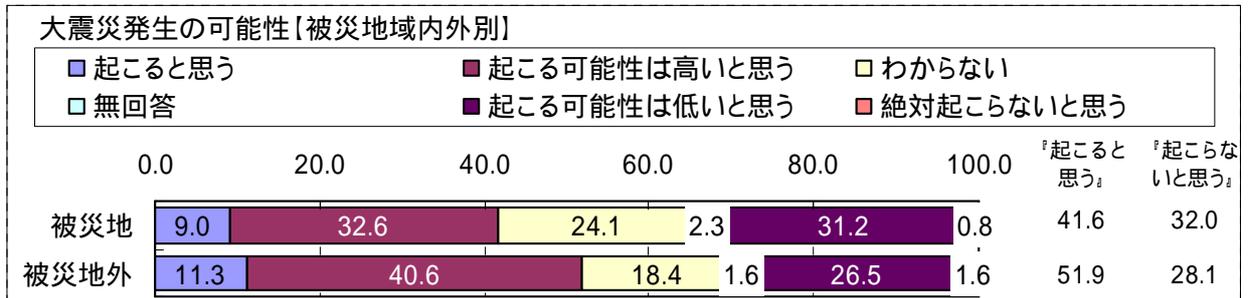
『起こると思う』は、淡路(64.7%)や西播磨(61.7%)で6割を超える一方、丹波(32.3%)では3割台に止まり、逆に、『起こらないと思う』は、丹波(40.8%)で4割を超える一方、淡路(15.6%)では1割台半ばに止まるなど、地域間での差が大きい。

また、「わからない」は、阪神北(26.1%)と但馬(26.0%)で4分の1を超え、西播磨(12.2%)を除き2割前後(18.0%~24.8%)生じている。



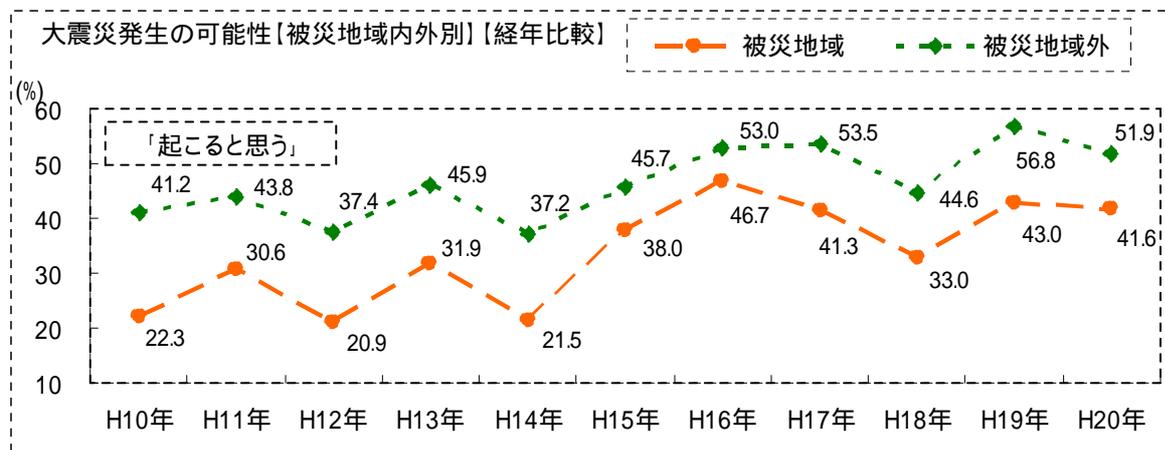
被災地域・被災地域外別

『起こると思う』は、被災地域(41.6%)より被災地域外(51.9%)で多く、被災地域では、『起こらないと思う』(32.0%)や『わからない』(24.1%)が、被災地域外(前者:28.1%、後:18.4%)を上回っている。



被災地域・被災地域外別（経年比較）

『起こると思う』は、被災地域(51.9%)、被災地域外(41.6%)ともに前年(56.8%、43.0%)より減少している。

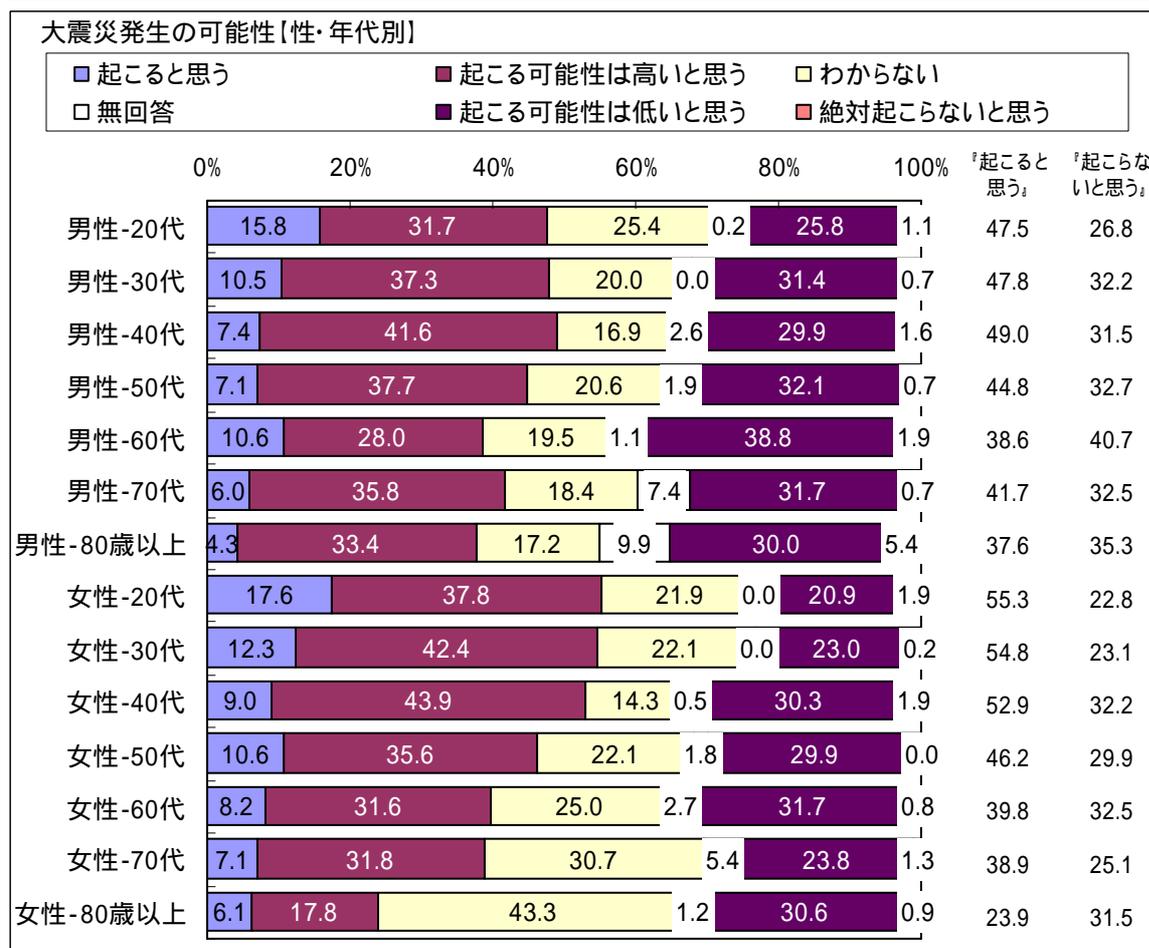
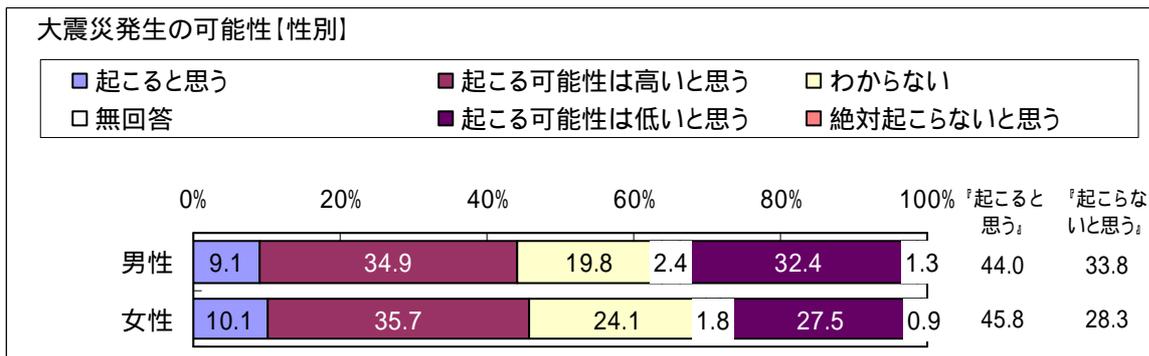


性別、性・年代別

性別で見ると、『起こらないと思う』は女性(28.3%)より男性(33.8%)でやや多く、「わからない」は男性(19.8%)より女性(24.1%)でやや多い。

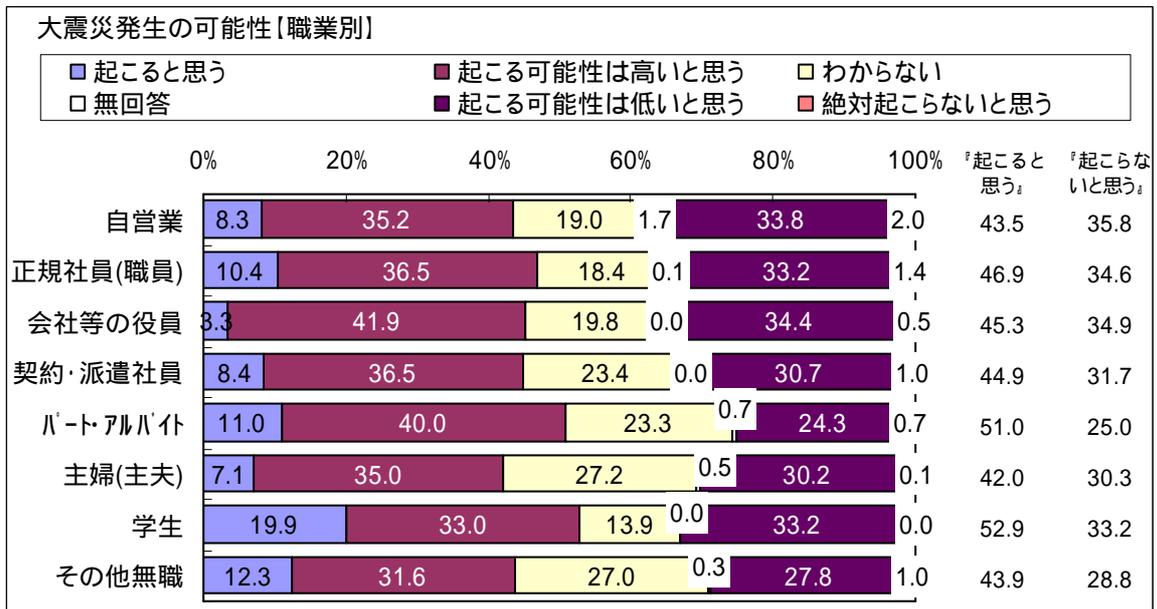
性・年代別で見ると、『起こると思う』は、男女とも50代以下で多く、男性では概ね4割台後半、女性では50代を除き5割台である。一方、『起こらないと思う』は、男性では20代(26.8%)と60代(40.7%)を除くと概ね3割台前半であり、女性では20代(22.8%)と30代(23.1%)を除くと3割前後(25.1%~32.5%)である。

なお、男性の60代と女性の80歳以上では『起こらないと思う』が『起こると思う』を上回っている。また、「わからない」は、女性の70代(30.7%)で3割、80歳以上(43.3%)では4割を超えている。



職業別

職業別でみると、『起こると思う』は、5割台の学生(52.9%)とパートアルバイト(51.0%)を除く職業では4割台で、一方、『起こらないと思う』はいずれの職業でも3割前後(25.0%~35.8%)である。また、『わからない』が、主婦(27.2%)やその他無職(27.0%)で4分の1を超えている。



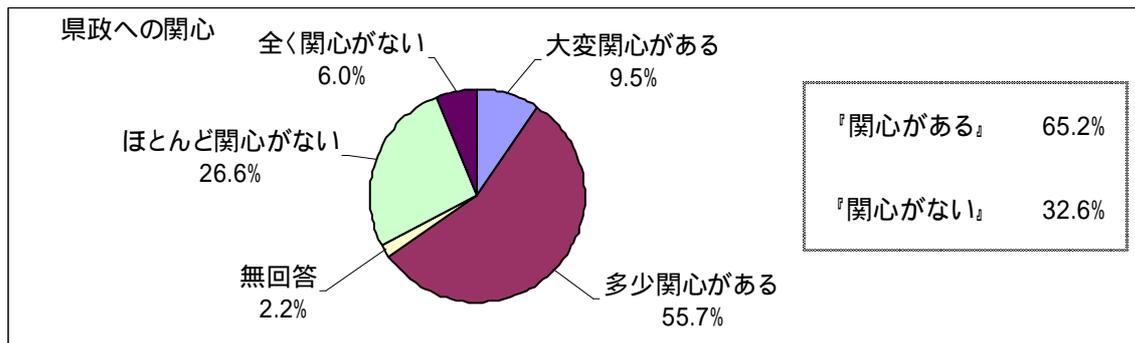
1.2 県政への意識

(1) 県政への関心

問 17 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に印をつけてください。

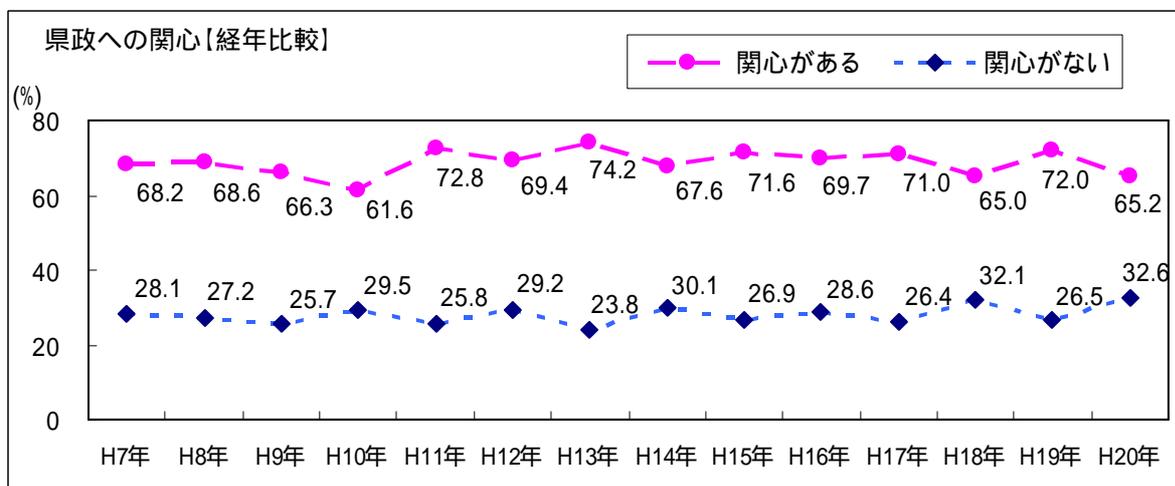
- | | |
|-----------|-------------|
| 1 大変関心がある | 3 ほとんど関心がない |
| 2 多少関心がある | 4 全く関心がない |

『関心がある』（「大変関心がある」と「多少関心がある」の合計 65.2%）は6割半ばで、『関心がない』（「ほとんど関心がない」と「全く関心がない」の合計 32.6%）は3割台となっており、『関心がある』が『関心がない』を上回っている。



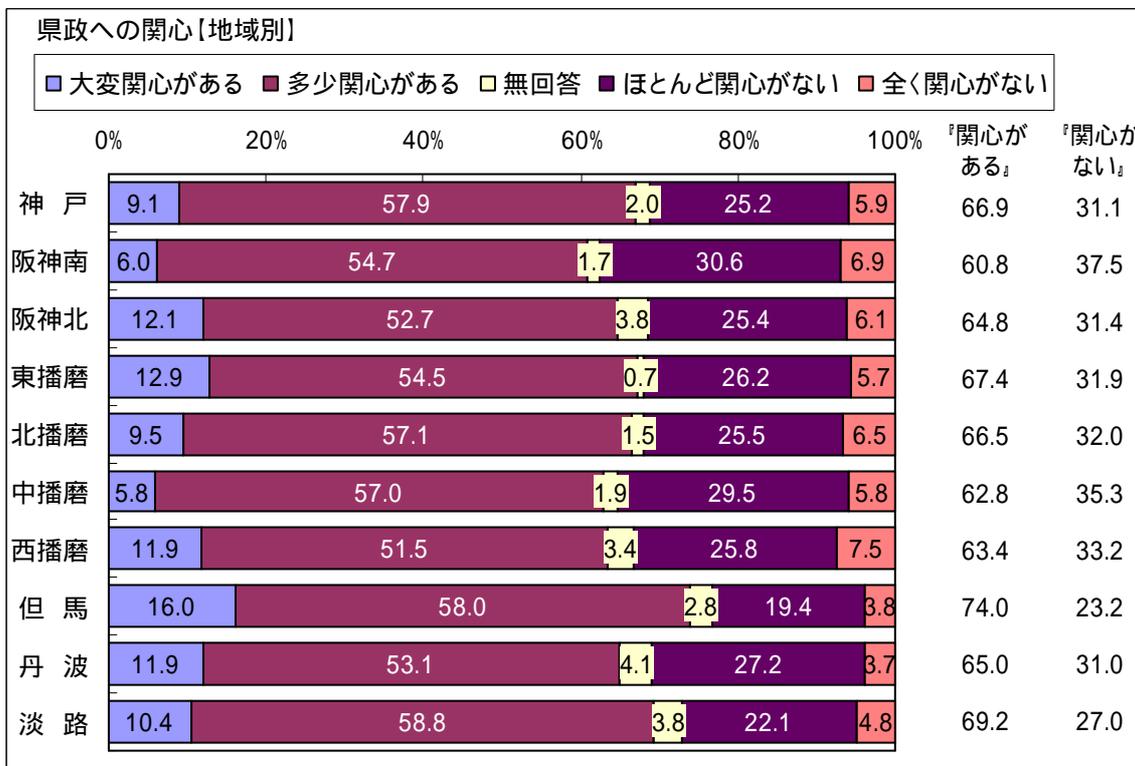
経年比較

『関心がある』（65.2%）は前年（72.0%）より6.8ポイント減少し、逆に、『関心がない』（32.6%）は前年（26.5%）より6.1ポイント増加し、過去最高であった平成18年（32.1%）を若干上回っている。



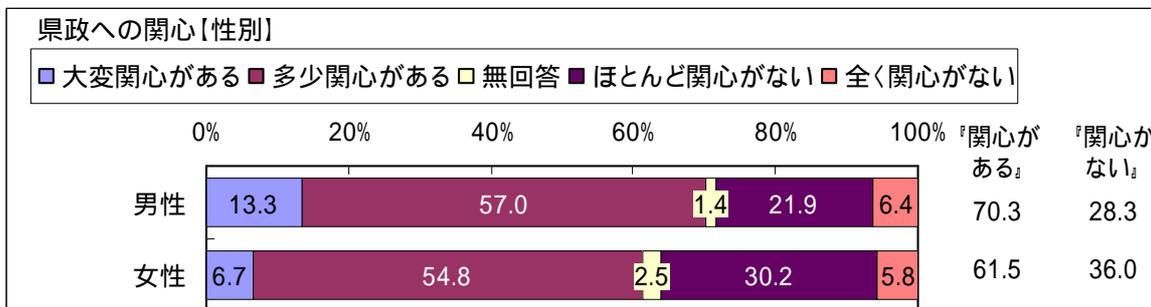
地域別

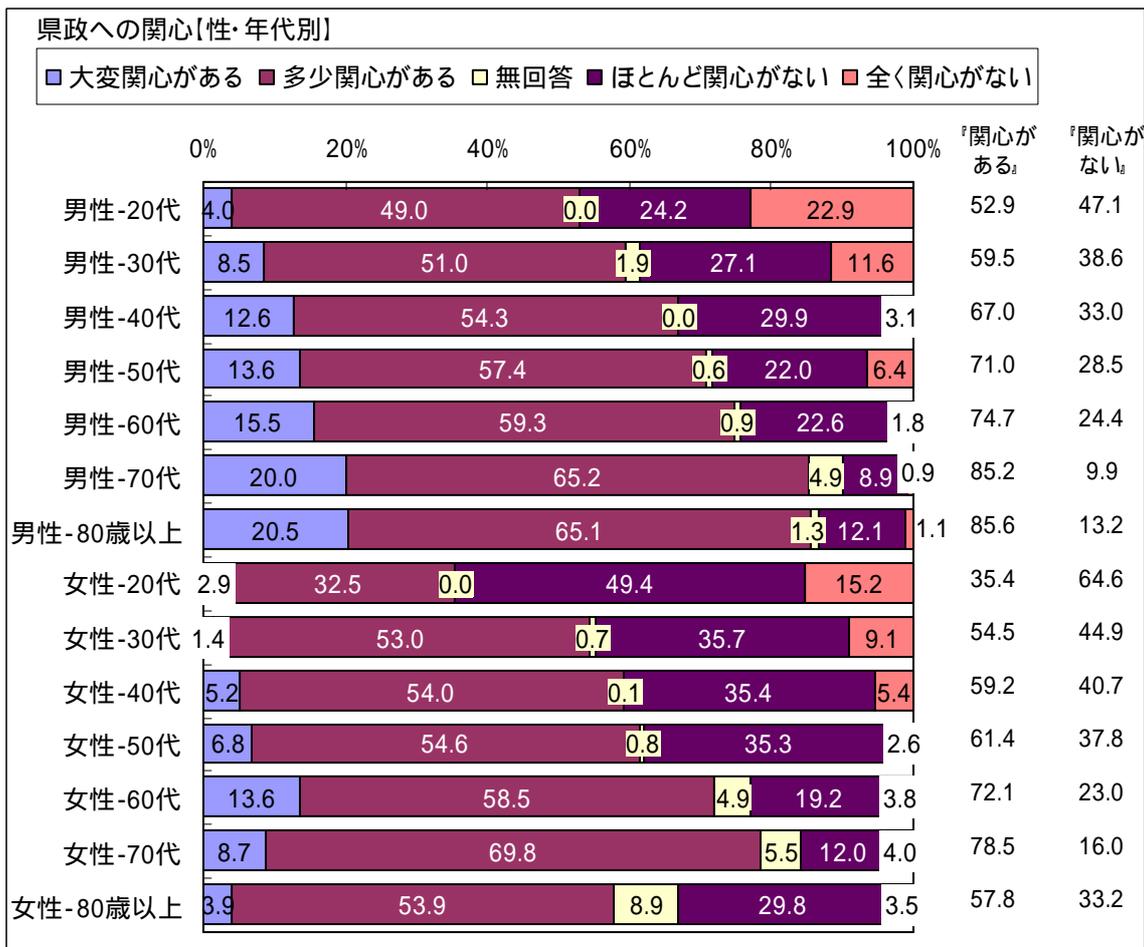
『関心がある』は、7割を超える但馬(74.0%)を除き、いずれの地域も6割台である。
 一方、『関心がない』は、2割台の但馬(23.2%)や淡路(27.0%)を除き、いずれの地域も3割台である



性別、性・年代別

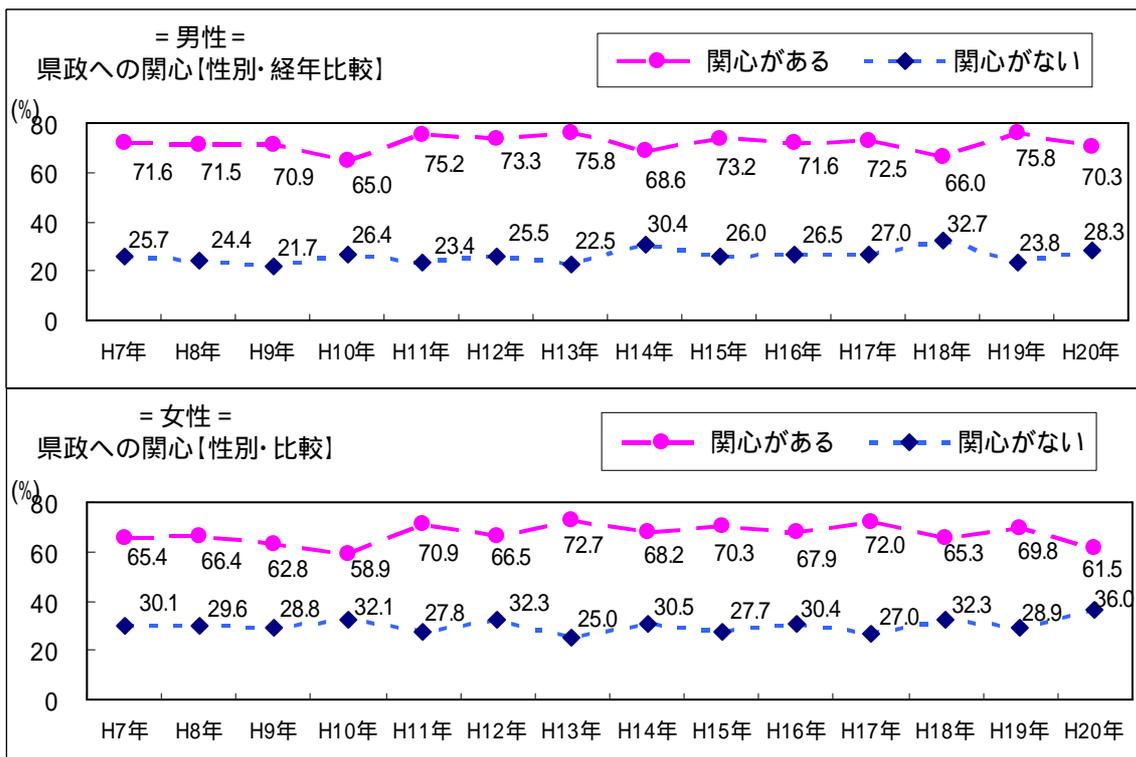
性別では、『関心がある』は、女性(61.5%)より男性(70.3%)が多い。
 性・年代別にみると、『関心がある』は、男性では、20代(52.9%)の5割台から年齢層が上がるにつれて多くなり、70代以降(85.2%、85.6%)では8割を超えている。一方、女性でも、20代(35.4%)の3割台から年齢層が上がるにつれて多くなるが、60代(72.1%)や70代(78.5%)の7割台がピークで80歳以上(57.8%)では5割台に低下している。
 なお、女性の20代のみ『関心がない』(64.6%)が『関心がある』(35.4%)を上回っている。





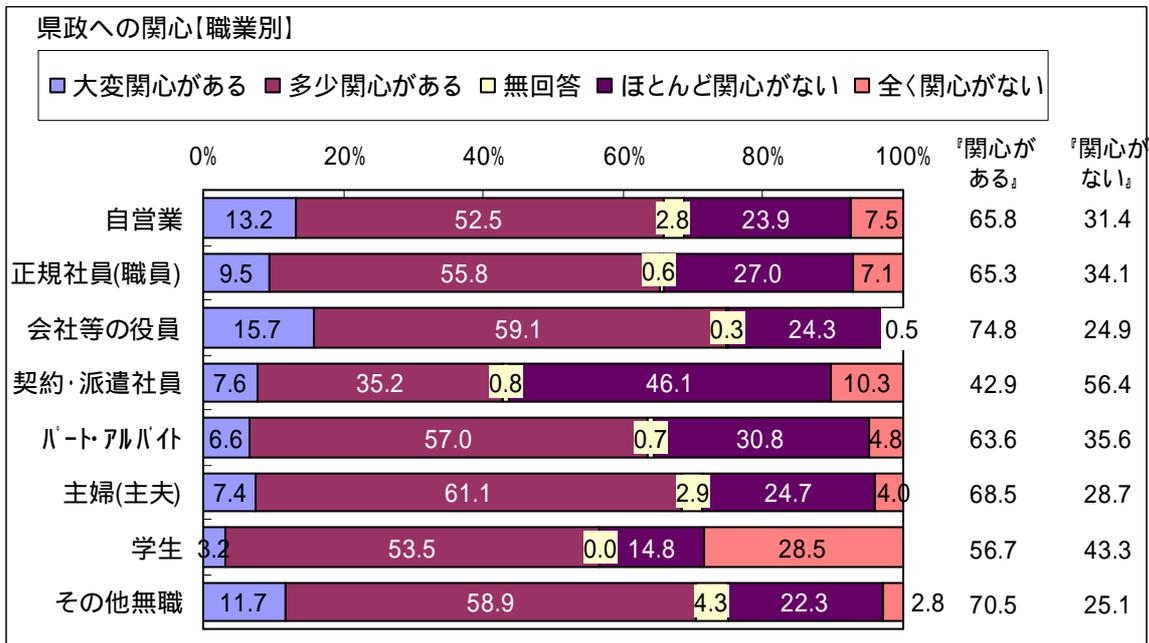
性別（経年比較）

性別の経年変化では、男女とも前年よりも『関心がある』が減少し(男:75.8% 70.3%、女:69.8% 61.5%)、『関心がない』が増加((男:23.8% 28.3%、女:28.9% 36.0%)しているが、女性の方が増減の幅が大きく、『関心がない』は過去最高となっている。



職業別

職業別でみると、『関心がある』は、会社等の役員(74.8%)、その他無職(70.5%)で7割を超え、6割台の職業が多いなか、学生(56.7%)で5割台、契約・派遣社員(42.9%)では4割台となっており、契約・派遣社員のみで『関心がない』(56.4%)が『関心がある』を上回っている。



(2) 県政への評価

問 18 県の行っている仕事をあげています。それぞれについて、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで番号に 印をつけてください。

- (ア) 国際的な交流や協力
- (イ) 県政の広報・広聴活動
- (ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- (エ) 防災対策の充実
- (オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援
- (カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興
- (キ) 自然環境を守り育てる環境対策
- (ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- (ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- (コ) 創造的活力に富む中小企業の育成
- (サ) 雇用の安定と職業能力の開発
- (シ) 農林水産業の活性化対策
- (ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- (セ) 良質な住宅の供給
- (ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実
- (タ) 交通安全・防犯対策
- (チ) 震災からの復興対策

1：よくやっている 3：どちらともいえない 5：もっと努力が必要
2：まあまあやっている 4：もう少し努力が必要

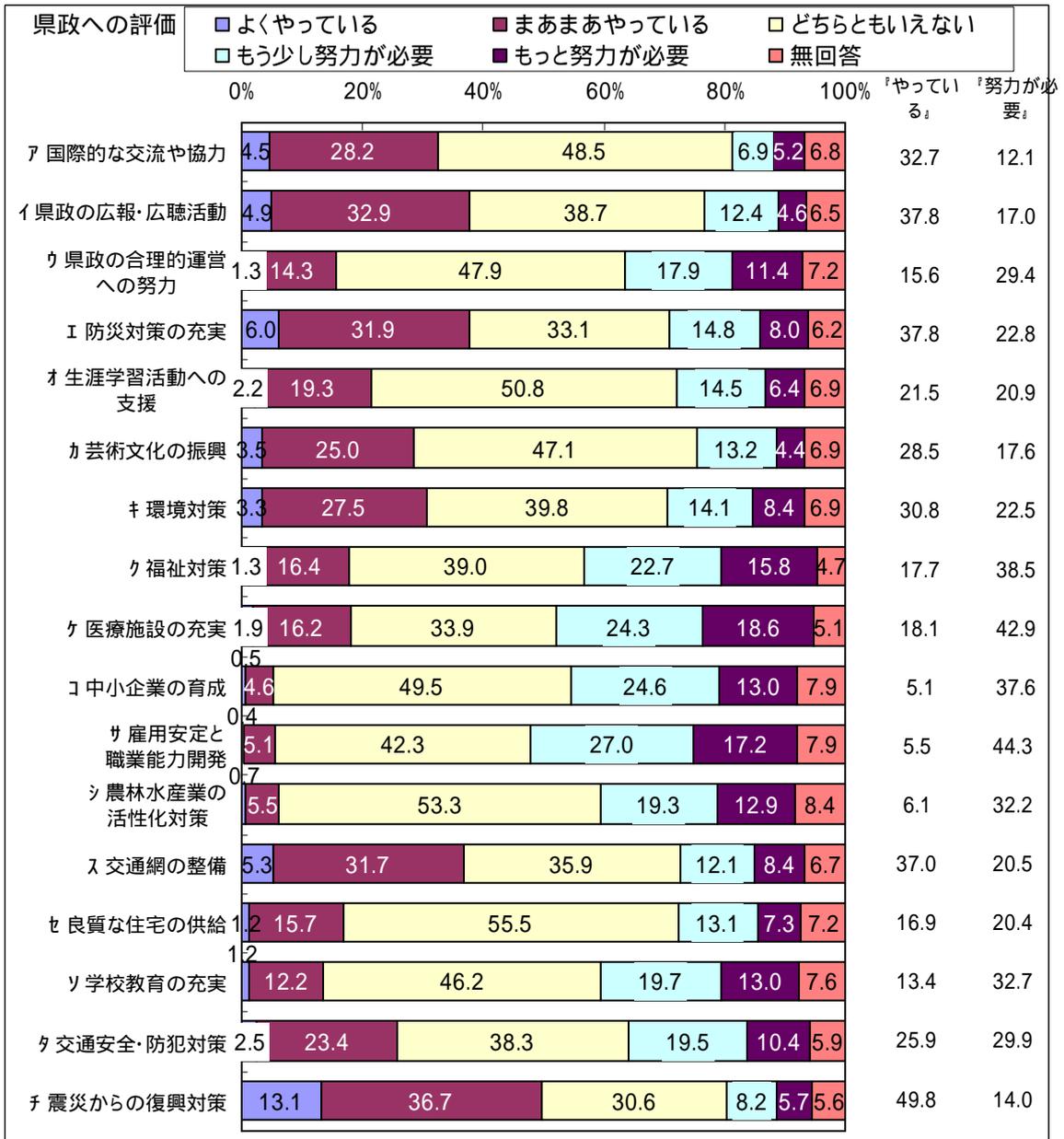
県政の主要 17 項目毎に 5 段階評価の形で聞いた。

『やっている』（「よくやっている」と「まあまあやっている」の合計）は、「チ 震災からの復興対策」（49.8%）で 5 割近くと最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」、「エ 防災対策の充実」（ともに 37.8%）、「ス 交通網の整備」（37.0%）の順で続いている。

『努力が必要』（「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」の合計）は、「サ 雇用安定と職業能力開発」（44.3%）で最も多く、「ケ 医療施設の充実」（42.9%）、「ク 福祉対策」（38.5%）、「コ 中小企業の育成」（37.6%）の順で続いている。

全 17 項目中、9 項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

「どちらともいえない」は、「オ 生涯学習活動への支援」（50.8%）、「シ 農林水産業の活性化対策」（53.3%）、「セ 良質な住宅の供給」（55.5%）で 5 割を超えているが、「エ 防災対策の充実」（33.1%）、「ケ 医療施設の充実」（33.9%）、「チ 震災からの復興対策」（30.6%）では 3 割台前半に止まっている。



前年度比較

前年との比較では、『やっている』は、「キ 環境対策」で 5.8 ポイント上回るなど 3 項目で増加している。

『努力が必要』は、「エ 防災対策の充実」で 4.1 ポイント増加するなど 6 項目で増加している。

県政への評価〔前年度比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	5.8
ウ 県政の合理的運営への努力	0.7
タ 交通安全・防犯対策	0.1
リ 学校教育の充実	-0.3
ケ 医療施設の充実	-0.8
コ 中小企業の育成	-0.8
チ 震災からの復興対策	-1.0
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.1
シ 農林水産業の活性化対策	-1.2
ク 福祉対策	-1.2
ア 国際的な交流や協力	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.5
セ 良質な住宅の供給	-3.8
イ 県政の広報・広聴活動	-4.6
エ 防災対策の充実	-5.2
カ 芸術文化の振興	-6.5
入 交通網の整備	-6.9

県政への評価〔前年度比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

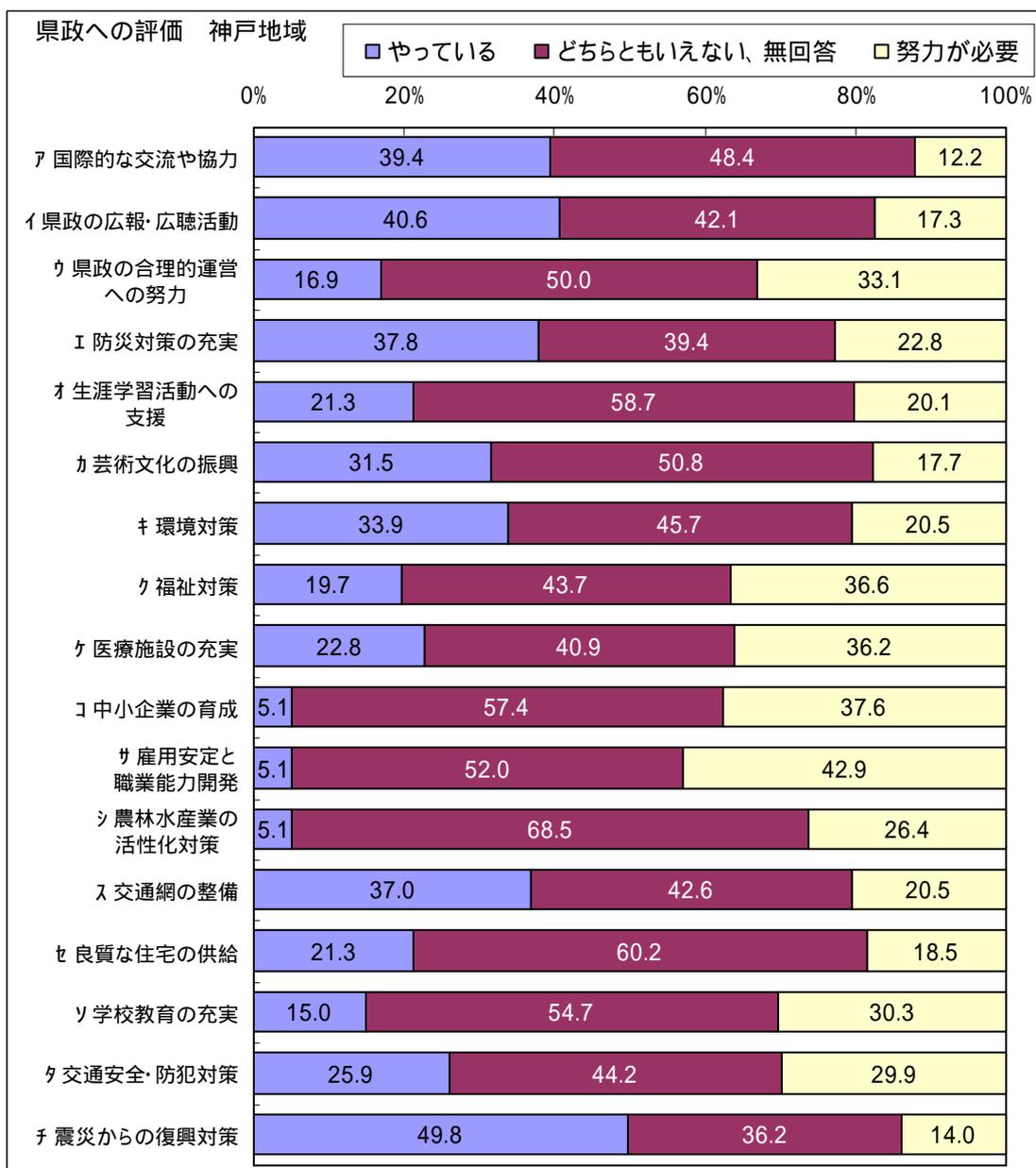
「努力が必要」	増減
エ 防災対策の充実	4.1
カ 芸術文化の振興	2.6
コ 中小企業の育成	2.2
入 交通網の整備	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.4
ウ 県政の合理的運営への努力	0.2
オ 生涯学習活動への支援	0.0
セ 良質な住宅の供給	-0.2
シ 農林水産業の活性化対策	-0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
チ 震災からの復興対策	-0.9
リ 学校教育の充実	-3.0
タ 交通安全・防犯対策	-3.5
ケ 医療施設の充実	-3.6
ク 福祉対策	-4.1
キ 環境対策	-5.8

《神戸》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(49.8%)で約5割と最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(40.6%)、「ア 国際的な交流や協力」(39.4%)が4割前後で続いている。

『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(42.9%)で最も多く、「コ 中小企業の育成」(37.6%)、「ク 福祉対策」(36.6%)、「ケ 医療施設の充実」(36.2%)が僅差で続いている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



神戸で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ア 国際的な交流や協力」(6.7ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(4.7ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(4.3ポイント)など9項目である。

『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ウ 県政の合理的運営への努力」(3.7ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(0.3ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」、「カ 芸術文化の振興」(ともに0.1ポイント)の4項目である。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(8.5ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(2.5ポイント)、「ウ 県政の合理的運営への努力」(2.4ポイント)など6項目である。一方、「ス 交通網の整備」は前年より11.4ポイント減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「エ 防災対策の充実」(7.7ポイント)、「ス 交通網の整備」(6.7ポイント)、「コ 中小企業の育成」(6.3%)など11項目である。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ア 国際的な交流や協力	6.7
ケ 医療施設の充実	4.7
セ 良質な住宅の供給	4.3
キ 環境対策	3.0
カ 芸術文化の振興	3.0
イ 県政の広報・広聴活動	2.7
ク 福祉対策	2.0
ソ 学校教育の充実	1.5
ウ 県政の合理的運営への努力	1.4
エ 防災対策の充実	0.0
コ 中小企業の育成	0.0
ス 交通網の整備	0.0
タ 交通安全・防犯対策	0.0
チ 震災からの復興対策	0.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.4
シ 農林水産業の活性化対策	-1.0

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ウ 県政の合理的運営への努力	3.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
ア 国際的な交流や協力	0.1
カ 芸術文化の振興	0.1
エ 防災対策の充実	0.0
コ 中小企業の育成	0.0
ス 交通網の整備	0.0
タ 交通安全・防犯対策	0.0
チ 震災からの復興対策	0.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.8
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.3
セ 良質な住宅の供給	-1.9
ク 福祉対策	-1.9
キ 環境対策	-2.1
ソ 学校教育の充実	-2.4
シ 農林水産業の活性化対策	-5.8
ケ 医療施設の充実	-6.6

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	8.5
ソ 学校教育の充実	2.5
ウ 県政の合理的運営への努力	2.4
ケ 医療施設の充実	1.3
タ 交通安全・防犯対策	0.9
オ 生涯学習活動への支援	0.1
コ 中小企業の育成	-0.3
ク 福祉対策	-0.8
ア 国際的な交流や協力	-1.0
チ 震災からの復興対策	-1.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.5
シ 農林水産業の活性化対策	-2.4
セ 良質な住宅の供給	-3.0
イ 県政の広報・広聴活動	-3.6
カ 芸術文化の振興	-3.9
エ 防災対策の充実	-8.3
ス 交通網の整備	-11.4

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

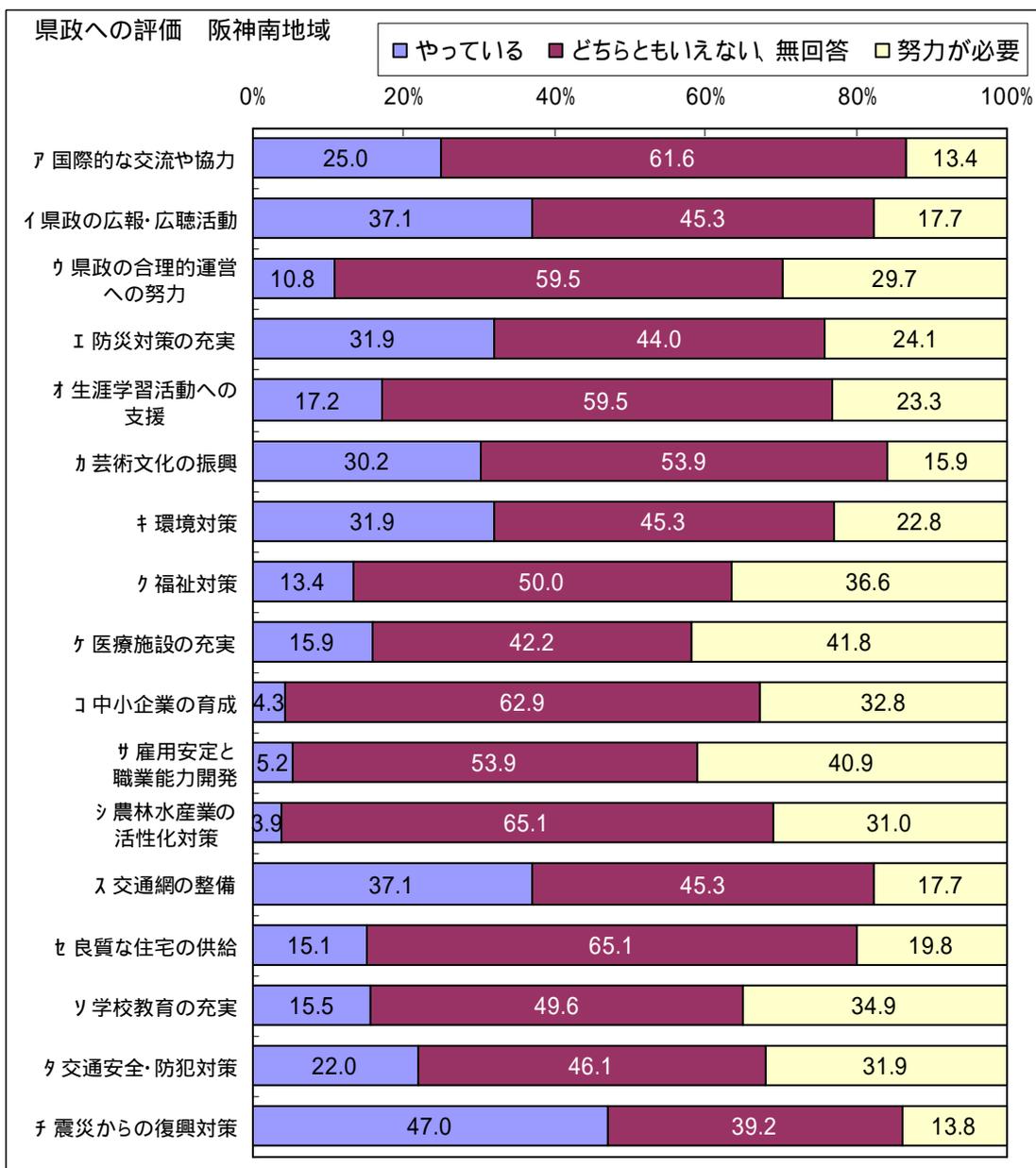
「努力が必要」	増減
エ 防災対策の充実	7.7
ス 交通網の整備	6.7
コ 中小企業の育成	6.3
ウ 県政の合理的運営への努力	4.3
セ 良質な住宅の供給	4.3
サ 雇用安定と職業能力開発	3.3
ア 国際的な交流や協力	3.0
タ 交通安全・防犯対策	1.1
カ 芸術文化の振興	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.9
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
ソ 学校教育の充実	-0.9
チ 震災からの復興対策	-0.9
ク 福祉対策	-2.5
ケ 医療施設の充実	-2.9
シ 農林水産業の活性化対策	-3.6
キ 環境対策	-9.5

《阪神南》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(47.0%)で4割台後半と最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」、「ス 交通網の整備」(ともに37.1%)が続いている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(41.8%)、「サ 雇用安定と職業能力の開発」(40.9%)で4割を超え、「ク 福祉対策」(36.6%)、「ソ 学校教育の充実」(34.9%)が続いている。

17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



阪神南で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ソ 学校教育の充実」(2.1ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(1.7ポイント)などの4項目である。

『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(2.4ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(2.2ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(2.0ポイント)など8項目である。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(8.5ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(2.0ポイント)など5項目である。一方、「ス 交通網の整備」は前年より11.0ポイント減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「カ 芸術文化の振興」(3.5ポイント)、「エ 防災対策の充実」(1.7ポイント)、「ス 交通網の整備」(1.3ポイント)など5項目である。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ソ 学校教育の充実	2.1
カ 芸術文化の振興	1.7
キ 環境対策	1.1
ス 交通網の整備	0.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.4
コ 中小企業の育成	-0.8
イ 県政の広報・広聴活動	-0.8
セ 良質な住宅の供給	-1.8
ケ 医療施設の充実	-2.2
シ 農林水産業の活性化対策	-2.3
チ 震災からの復興対策	-2.8
タ 交通安全・防犯対策	-3.9
オ 生涯学習活動への支援	-4.2
ク 福祉対策	-4.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.8
エ 防災対策の充実	-6.0
ア 国際的な交流や協力	-7.7

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	2.4
ソ 学校教育の充実	2.2
タ 交通安全・防犯対策	2.0
エ 防災対策の充実	1.3
ア 国際的な交流や協力	1.3
イ 県政の広報・広聴活動	0.7
ウ 県政の合理的運営への努力	0.3
キ 環境対策	0.3
チ 震災からの復興対策	-0.2
セ 良質な住宅の供給	-0.5
ケ 医療施設の充実	-1.0
シ 農林水産業の活性化対策	-1.2
カ 芸術文化の振興	-1.6
ク 福祉対策	-1.9
ス 交通網の整備	-2.8
サ 雇用安定と職業能力開発	-3.3
コ 中小企業の育成	-4.8

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	8.5
ソ 学校教育の充実	2.0
サ 雇用安定と職業能力開発	0.5
コ 中小企業の育成	0.4
シ 農林水産業の活性化対策	0.3
ウ 県政の合理的運営への努力	0.0
イ 県政の広報・広聴活動	-0.2
ク 福祉対策	-1.9
チ 震災からの復興対策	-2.0
タ 交通安全・防犯対策	-3.3
ア 国際的な交流や協力	-3.4
オ 生涯学習活動への支援	-3.5
セ 良質な住宅の供給	-3.7
ケ 医療施設の充実	-5.1
エ 防災対策の充実	-5.4
カ 芸術文化の振興	-8.4
ス 交通網の整備	-11.0

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

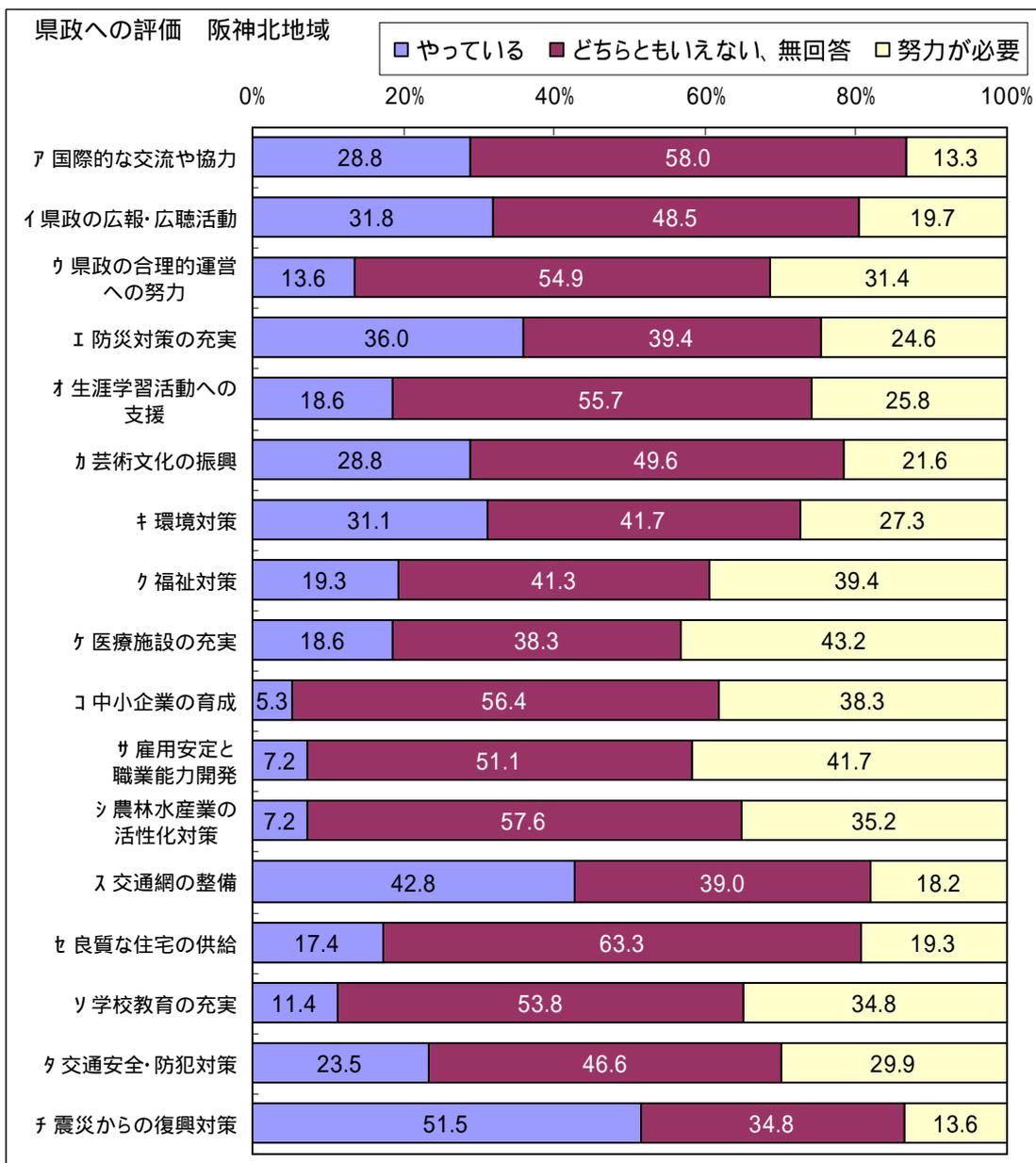
「努力が必要」	増減
カ 芸術文化の振興	3.5
エ 防災対策の充実	1.7
ス 交通網の整備	1.3
シ 農林水産業の活性化対策	1.1
ウ 県政の合理的運営への努力	0.6
ア 国際的な交流や協力	-1.3
コ 中小企業の育成	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.6
チ 震災からの復興対策	-2.2
ケ 医療施設の充実	-2.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-3.1
タ 交通安全・防犯対策	-3.3
ソ 学校教育の充実	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.6
キ 環境対策	-4.8
セ 良質な住宅の供給	-6.2
ク 福祉対策	-9.7

《阪神北》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(51.5%)で5割を超えて最も多く、「ス 交通網の整備」(42.8%)が4割台、「エ 防災対策の充実」(36.0%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(31.8%)、「キ 環境対策」(31.1ポイント)が3割台で続いている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(43.2%)、「サ 雇用安定と職業能力の開発」(41.7%)で4割を超え、「ク 福祉対策」(39.4%)、「コ 中小企業の育成」(38.3%)で4割近くになっている。

17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



阪神北で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(5.9ポイント)、「チ 震災からの復興対策」、「サ 雇用安定と職業能力開発」(ともに1.7ポイント)など10項目である。

『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(4.9ポイント)、「キ 環境対策」(4.7ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(4.0ポイント)など13項目である。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(5.4ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(1.2ポイント)、「ウ 県政の合理的運営への努力」(0.8ポイント)など5項目である。一方、「イ 県政の広報・広聴活動」は前年より11.8ポイント減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(7.2ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(5.8ポイント)など11項目である。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ス 交通網の整備	5.9
チ 震災からの復興対策	1.7
サ 雇用安定と職業能力開発	1.7
ク 福祉対策	1.6
シ 農林水産業の活性化対策	1.1
セ 良質な住宅の供給	0.5
ケ 医療施設の充実	0.5
カ 芸術文化の振興	0.3
キ 環境対策	0.2
コ 中小企業の育成	0.2
イ 防災対策の充実	-1.9
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.9
ソ 学校教育の充実	-2.1
タ 交通安全・防犯対策	-2.4
オ 生涯学習活動への支援	-2.9
ア 国際的な交流や協力	-3.9
イ 県政の広報・広聴活動	-6.0

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	4.9
キ 環境対策	4.7
カ 芸術文化の振興	4.0
シ 農林水産業の活性化対策	3.0
イ 県政の広報・広聴活動	2.7
ソ 学校教育の充実	2.1
ウ 県政の合理的運営への努力	2.0
エ 防災対策の充実	1.8
ア 国際的な交流や協力	1.2
ク 福祉対策	0.9
コ 中小企業の育成	0.7
ケ 医療施設の充実	0.3
タ 交通安全・防犯対策	0.1
チ 震災からの復興対策	-0.4
セ 良質な住宅の供給	-1.0
ス 交通網の整備	-2.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.6

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	5.4
シ 農林水産業の活性化対策	1.2
ウ 県政の合理的運営への努力	0.8
ク 福祉対策	0.5
ケ 医療施設の充実	0.3
コ 中小企業の育成	-0.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.7
ス 交通網の整備	-1.1
ソ 学校教育の充実	-1.2
チ 震災からの復興対策	-1.3
タ 交通安全・防犯対策	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-4.5
イ 防災対策の充実	-6.0
セ 良質な住宅の供給	-6.0
オ 生涯学習活動への支援	-6.2
カ 芸術文化の振興	-9.1
イ 県政の広報・広聴活動	-11.8

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

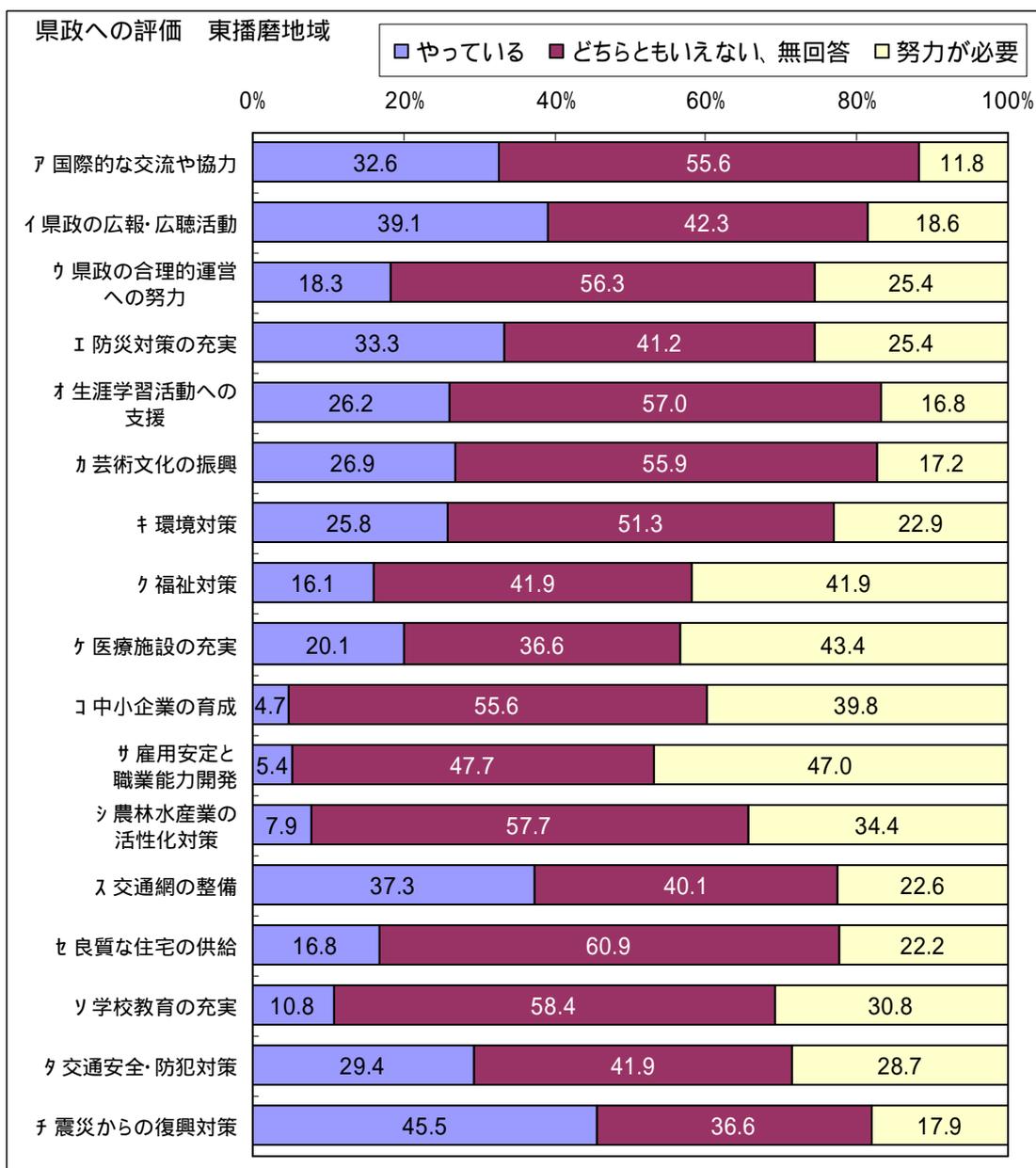
「努力が必要」	増減
シ 農林水産業の活性化対策	7.2
カ 芸術文化の振興	5.8
オ 生涯学習活動への支援	5.0
コ 中小企業の育成	5.0
エ 防災対策の充実	5.0
イ 県政の広報・広聴活動	2.8
キ 環境対策	2.2
ア 国際的な交流や協力	1.8
チ 震災からの復興対策	0.8
ソ 学校教育の充実	0.8
ウ 県政の合理的運営への努力	0.4
セ 良質な住宅の供給	-0.6
ク 福祉対策	-1.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.7
タ 交通安全・防犯対策	-2.2
ス 交通網の整備	-2.5
ケ 医療施設の充実	-5.3

《東播磨》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(45.5%)で4割半ばを超えて最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(39.1%)、「ス 交通網の整備」(37.3%)、「エ 防災対策の充実」(33.3%)が3割台で続いている。

『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(47.0%)で4割半ばを超えて最も多く、「ケ 医療施設の充実」(43.4%)、「ク 福祉対策」(41.9%)、「コ 中小企業の育成」(39.8%)が4割前後で続いている。

17項目中、9項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。



東播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(4.7ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(3.5ポイント)、「ウ 県政の合理的運営への努力」(2.7ポイント)など7項目である。

一方、『努力が必要』は、「チ 震災からの復興対策」(3.9ポイント)、「ク 福祉対策」(3.4ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(2.7ポイント)、「エ 防災対策の充実」(2.6ポイント)など11項目である。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(6.1ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(5.6ポイント)、「キ 環境対策」(4.4ポイント)など7項目である。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「エ 防災対策の充実」(3.8ポイント)、「ス 交通網の整備」(2.9ポイント)、「コ 中小企業の育成」(2.0ポイント)など4項目である。一方、「タ 交通安全・防犯対策」は16.3ポイント、「ソ 学校教育の充実」は10.8ポイント前年より減少している。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	4.7
タ 交通安全・防犯対策	3.5
ウ 県政の合理的運営への努力	2.7
ケ 医療施設の充実	2.0
シ 農林水産業の活性化対策	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
ス 交通網の整備	0.3
ア 国際的な交流や協力	0.0
セ 良質な住宅の供給	-0.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.2
コ 中小企業の育成	-0.4
カ 芸術文化の振興	-1.6
ク 福祉対策	-1.6
ソ 学校教育の充実	-2.7
チ 震災からの復興対策	-4.3
エ 防災対策の充実	-4.5
キ 環境対策	-5.0

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
チ 震災からの復興対策	3.9
ク 福祉対策	3.4
サ 雇用安定と職業能力開発	2.7
エ 防災対策の充実	2.6
コ 中小企業の育成	2.2
シ 農林水産業の活性化対策	2.2
ス 交通網の整備	2.1
セ 良質な住宅の供給	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.7
ケ 医療施設の充実	0.5
キ 環境対策	0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.4
タ 交通安全・防犯対策	-1.2
ソ 学校教育の充実	-1.9
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.9
オ 生涯学習活動への支援	-4.0

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	6.1
タ 交通安全・防犯対策	5.6
キ 環境対策	4.4
ア 国際的な交流や協力	3.8
ウ 県政の合理的運営への努力	3.5
オ 生涯学習活動への支援	2.9
ク 福祉対策	0.5
シ 農林水産業の活性化対策	-0.6
コ 中小企業の育成	-0.8
カ 芸術文化の振興	-1.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.0
ソ 学校教育の充実	-2.1
セ 良質な住宅の供給	-3.4
イ 県政の広報・広聴活動	-3.7
チ 震災からの復興対策	-4.6
エ 防災対策の充実	-4.7
ス 交通網の整備	-4.9

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

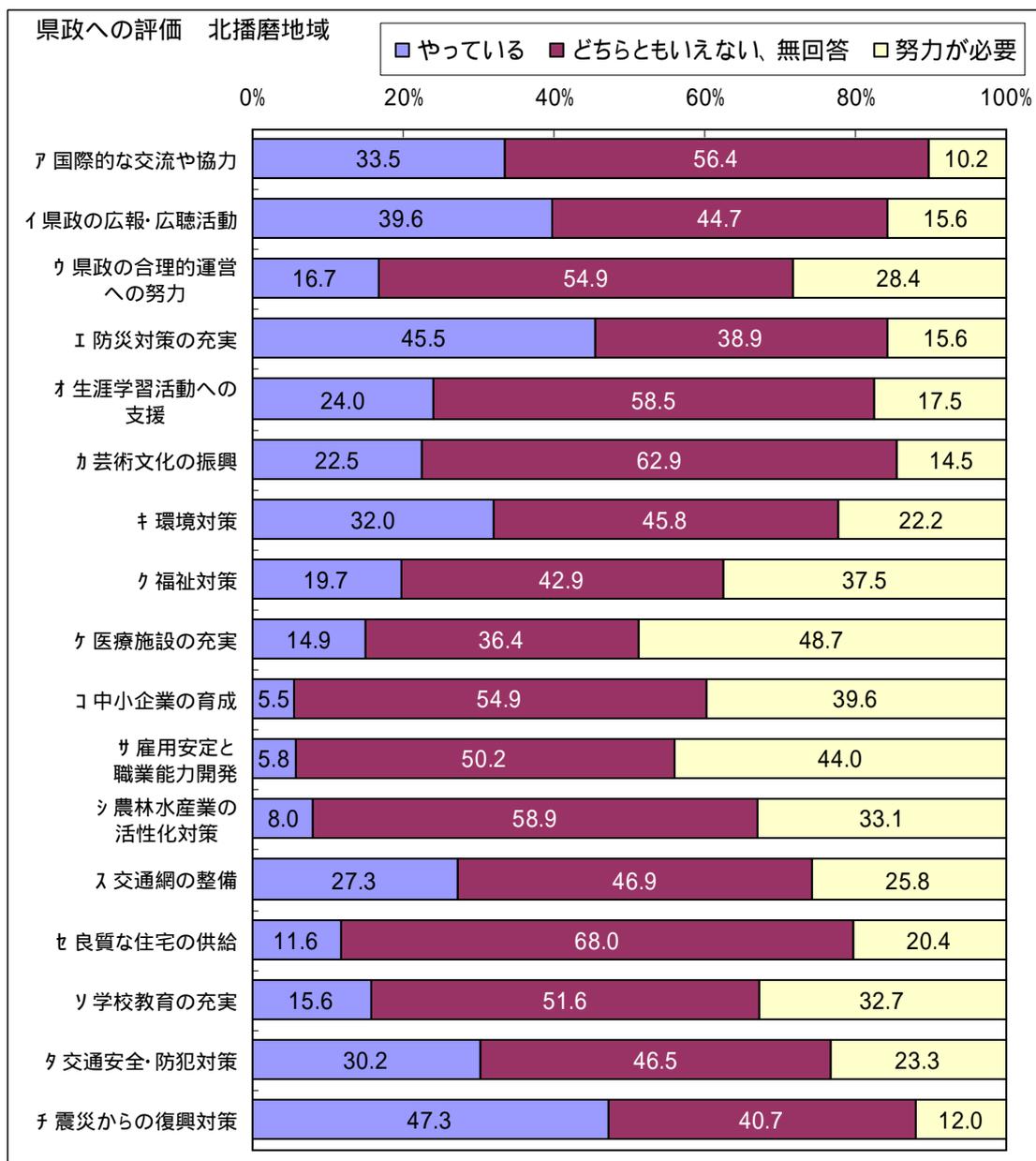
「努力が必要」	増減
エ 防災対策の充実	3.8
ス 交通網の整備	2.9
コ 中小企業の育成	2.0
ア 国際的な交流や協力	0.9
セ 良質な住宅の供給	-0.2
チ 震災からの復興対策	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.8
シ 農林水産業の活性化対策	-2.3
ク 福祉対策	-4.4
オ 生涯学習活動への支援	-6.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-6.6
ケ 医療施設の充実	-8.4
キ 環境対策	-9.9
ソ 学校教育の充実	-10.8
タ 交通安全・防犯対策	-16.3

《北播磨》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(47.3%)で5割近くと最も多く、「エ 防災対策の充実」(45.5%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(39.6%)、「ア 国際的な交流や協力」(33.5%)と続いている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(48.7%)で5割近くと最も多く、「サ 雇用安定と職業能力開発」(44.0%)、「コ 中小企業の育成」(39.6%)、「ク 福祉対策」(37.5%)が続いている。

17項目中、9項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。



北播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」(7.6ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(4.3ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(2.5ポイント)など12項目である。

『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ケ 医療施設の充実」(5.9ポイント)、「ス 交通網の整備」(5.3ポイント)、「コ 中小企業の育成」(2.1ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(0.9ポイント)の4項目である。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「タ 交通安全・防犯対策」(4.7ポイント)、「キ 環境対策」(4.5ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(1.4ポイント)など4項目である。一方、「ス 交通網の整備」は12.3ポイント、「カ 芸術文化の振興」は11.7ポイント前年より減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「エ 防災対策の充実」(3.6ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(3.1ポイント)、「コ 中小企業の育成」(2.7ポイント)など12項目である。

県政への評価[全県結果との比較]
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	7.6
タ 交通安全・防犯対策	4.3
オ 生涯学習活動への支援	2.5
ソ 学校教育の充実	2.2
ク 福祉対策	1.9
シ 農林水産業の活性化対策	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.8
キ 環境対策	1.2
ウ 県政の合理的運営への努力	1.2
ア 国際的な交流や協力	0.8
コ 中小企業の育成	0.4
サ 雇用安定と職業能力開発	0.3
チ 震災からの復興対策	-2.5
ケ 医療施設の充実	-3.2
セ 良質な住宅の供給	-5.3
カ 芸術文化の振興	-5.9
ス 交通網の整備	-9.7

県政への評価[全県結果との比較]
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	5.9
ス 交通網の整備	5.3
コ 中小企業の育成	2.1
シ 農林水産業の活性化対策	0.9
ソ 学校教育の充実	0.0
セ 良質な住宅の供給	0.0
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.3
キ 環境対策	-0.3
ク 福祉対策	-1.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.0
イ 県政の広報・広聴活動	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.9
チ 震災からの復興対策	-2.0
カ 芸術文化の振興	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-3.4
タ 交通安全・防犯対策	-6.6
エ 防災対策の充実	-7.2

県政への評価[前年結果との比較]
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
タ 交通安全・防犯対策	4.7
キ 環境対策	4.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
ケ 医療施設の充実	0.8
シ 農林水産業の活性化対策	-1.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.6
ソ 学校教育の充実	-1.8
ク 福祉対策	-1.9
コ 中小企業の育成	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.4
オ 生涯学習活動への支援	-4.2
エ 防災対策の充実	-4.2
チ 震災からの復興対策	-5.1
セ 良質な住宅の供給	-5.8
カ 芸術文化の振興	-11.7
ス 交通網の整備	-12.3

県政への評価[前年結果との比較]
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

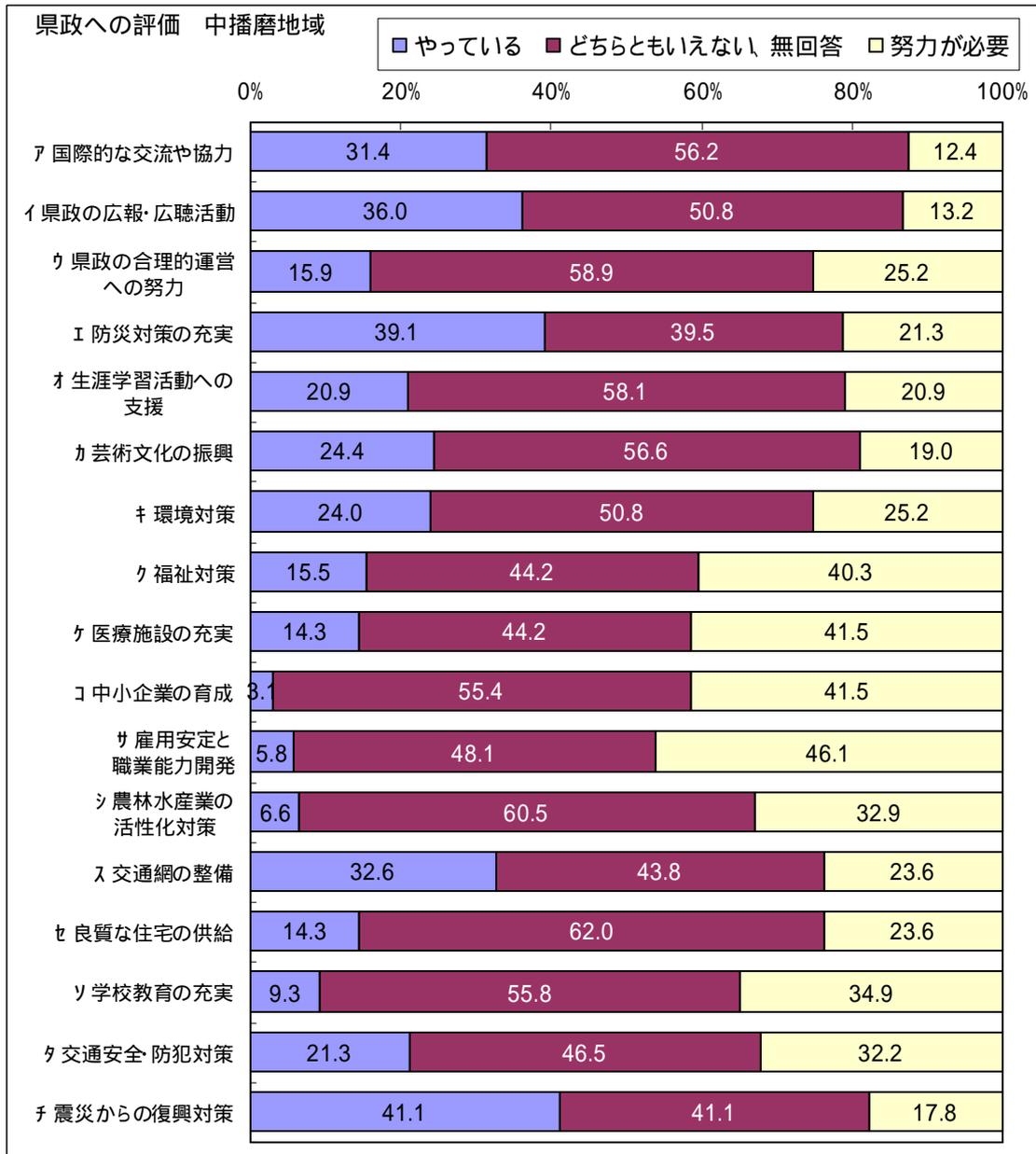
「努力が必要」	増減
エ 防災対策の充実	3.6
カ 芸術文化の振興	3.1
コ 中小企業の育成	2.7
ア 国際的な交流や協力	1.5
オ 生涯学習活動への支援	1.3
ス 交通網の整備	1.0
ウ 県政の合理的運営への努力	0.8
チ 震災からの復興対策	0.6
ク 福祉対策	0.6
ソ 学校教育の充実	0.5
セ 良質な住宅の供給	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.2
ケ 医療施設の充実	-0.3
キ 環境対策	-0.6
シ 農林水産業の活性化対策	-1.8
サ 雇用安定と職業能力開発	-3.0
タ 交通安全・防犯対策	-8.3

《中播磨》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(41.1%)で4割を超えて最も多く、「エ 防災対策の充実」(39.1%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(36.0%)、「ス 交通網の整備」(32.6%)の順で続いている。

『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力の開発」(46.1%)で4割半ばと最も多く、「ケ 医療施設の充実」、「コ 中小企業の育成」(ともに41.5%)、「ク 福祉対策」(40.3%)が続いている。

17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



中播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」(1.3ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(0.5ポイント)、「ウ 県政の合理的運営への努力」、「サ 雇用安定と職業能力開発」(ともに0.3ポイント)の4項目である。

『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「コ 中小企業の育成」(3.9ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(3.8ポイント)、「セ 良質な住宅の提供」(3.3ポイント)、「ス 交通網の整備」(3.2ポイント)など12項目である。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「サ 雇用安定と職業能力開発」(0.4ポイント)、「ク 福祉対策」(0.2ポイント)の2項目である。一方、「カ 芸術文化の振興」は前年より10.2ポイント減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「チ 震災からの復興対策」(6.0ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(4.4ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(3.6ポイント)など5項目である。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	1.3
シ 農林水産業の活性化対策	0.5
ウ 県政の合理的運営への努力	0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.8
コ 中小企業の育成	-2.0
ク 福祉対策	-2.2
セ 良質な住宅の供給	-2.6
ケ 医療施設の充実	-3.8
カ 芸術文化の振興	-4.0
ソ 学校教育の充実	-4.1
ス 交通網の整備	-4.4
タ 交通安全・防犯対策	-4.6
キ 環境対策	-6.8
チ 震災からの復興対策	-8.7

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
コ 中小企業の育成	3.9
チ 震災からの復興対策	3.8
セ 良質な住宅の供給	3.3
ス 交通網の整備	3.2
キ 環境対策	2.7
タ 交通安全・防犯対策	2.3
ソ 学校教育の充実	2.2
サ 雇用安定と職業能力開発	1.9
ク 福祉対策	1.8
カ 芸術文化の振興	1.4
シ 農林水産業の活性化対策	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.3
オ 生涯学習活動への支援	0.0
ケ 医療施設の充実	-1.4
エ 防災対策の充実	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.2

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
サ 雇用安定と職業能力開発	0.4
ク 福祉対策	0.2
ウ 県政の合理的運営への努力	0.0
シ 農林水産業の活性化対策	-1.2
タ 交通安全・防犯対策	-1.4
セ 良質な住宅の供給	-1.6
キ 環境対策	-2.1
ソ 学校教育の充実	-3.9
エ 防災対策の充実	-4.6
コ 中小企業の育成	-4.7
オ 生涯学習活動への支援	-5.2
イ 県政の広報・広聴活動	-5.3
ア 国際的な交流や協力	-6.2
ス 交通網の整備	-6.4
ケ 医療施設の充実	-7.0
チ 震災からの復興対策	-8.1
カ 芸術文化の振興	-10.2

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

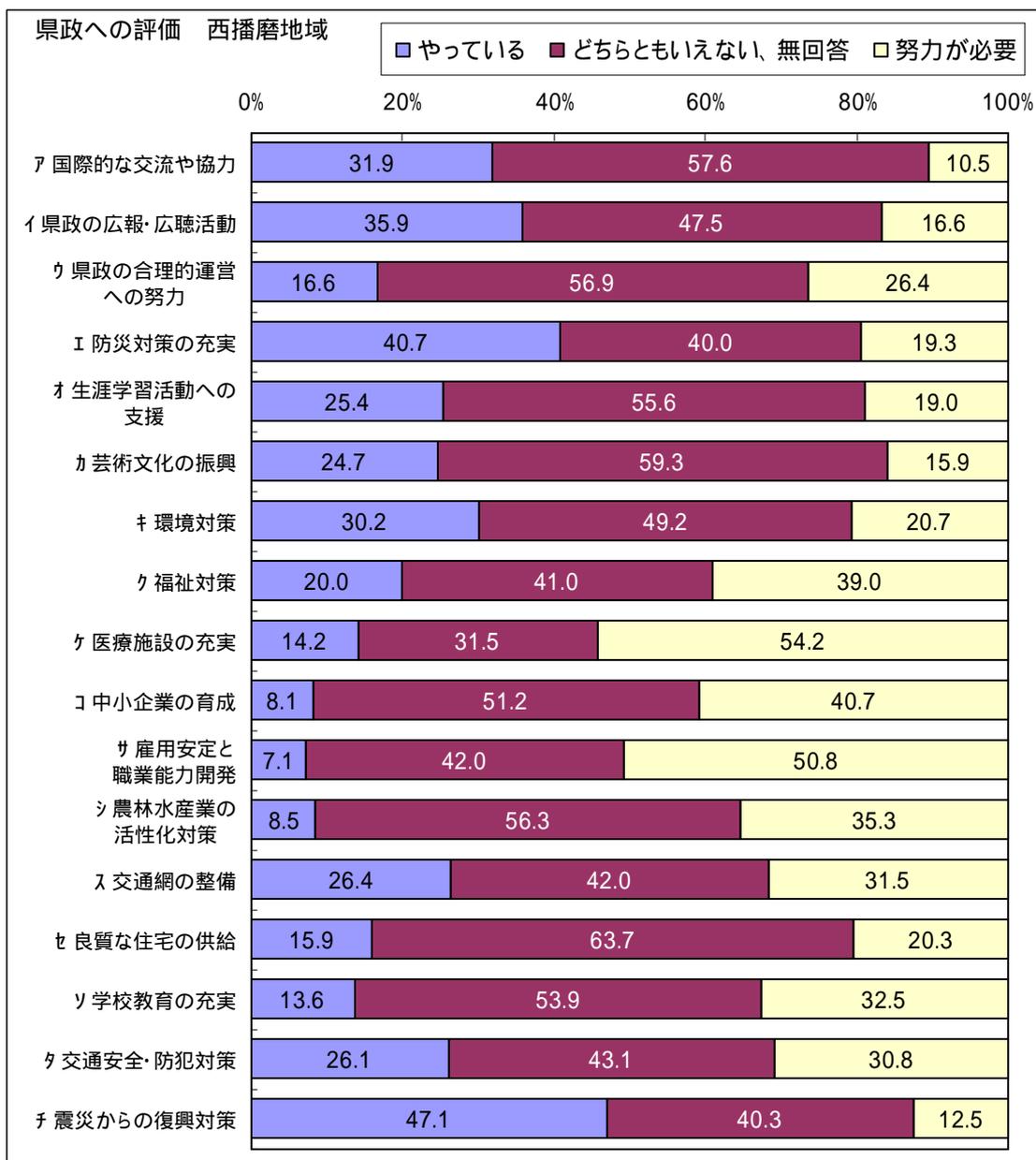
「努力が必要」	増減
チ 震災からの復興対策	6.0
カ 芸術文化の振興	4.4
ア 国際的な交流や協力	3.6
コ 中小企業の育成	1.5
ス 交通網の整備	0.6
エ 防災対策の充実	0.0
セ 良質な住宅の供給	-1.1
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
シ 農林水産業の活性化対策	-2.6
イ 県政の広報・広聴活動	-3.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-3.7
タ 交通安全・防犯対策	-4.8
ケ 医療施設の充実	-5.0
キ 環境対策	-6.0
ソ 学校教育の充実	-6.8
ク 福祉対策	-8.2

《西播磨》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(47.1%)で4割半ばを超えて最も多く、「エ 防災対策の充実」(40.7%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(35.9%)、「ア 国際的な交流や協力」(31.9%)の順で続いている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(54.2%)で5割半ばで最も多く、「サ 雇用安定と職業能力開発」(50.8%)、「コ 中小企業の育成」(40.7%)、「ク 福祉対策」(39.0%)と続いている。

17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



西播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(3.9ポイント)、「コ 中小企業の育成」(3.1ポイント)、「エ 防災対策の充実」(2.8ポイント)など9項目である。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(11.4ポイント)、「ス 交通網の整備」(11.0ポイント)の2項目で11ポイント上回るなど、7項目で全県結果を上回っている。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(2.6ポイント)、「コ 中小企業の育成」(0.5ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(0.2ポイント)の3項目である。一方、「イ 県政の広報・広聴活動」は13.0ポイント、「ス 交通網の整備」は12.9ポイント前年より減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(8.8ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(5.6ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(5.3ポイント)など9項目である。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	3.9
コ 中小企業の育成	3.1
エ 防災対策の充実	2.8
シ 農林水産業の活性化対策	2.3
ク 福祉対策	2.3
サ 雇用安定と職業能力開発	1.6
ウ 県政の合理的運営への努力	1.1
タ 交通安全・防犯対策	0.2
ソ 学校教育の充実	0.1
キ 環境対策	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-0.8
セ 良質な住宅の供給	-1.0
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
チ 震災からの復興対策	-2.7
カ 芸術文化の振興	-3.7
ケ 医療施設の充実	-3.9
ス 交通網の整備	-10.5

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	11.4
ス 交通網の整備	11.0
サ 雇用安定と職業能力開発	6.6
コ 中小企業の育成	3.1
シ 農林水産業の活性化対策	3.0
タ 交通安全・防犯対策	1.0
ク 福祉対策	0.5
セ 良質な住宅の供給	0.0
ソ 学校教育の充実	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
チ 震災からの復興対策	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.6
カ 芸術文化の振興	-1.7
キ 環境対策	-1.8
オ 生涯学習活動への支援	-1.9
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.0
エ 防災対策の充実	-3.5

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	2.6
コ 中小企業の育成	0.5
シ 農林水産業の活性化対策	0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.2
ソ 学校教育の充実	-2.3
ケ 医療施設の充実	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-3.3
チ 震災からの復興対策	-3.9
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.1
タ 交通安全・防犯対策	-4.2
ク 福祉対策	-4.8
セ 良質な住宅の供給	-5.4
エ 防災対策の充実	-5.5
オ 生涯学習活動への支援	-7.7
カ 芸術文化の振興	-8.4
ス 交通網の整備	-12.9
イ 県政の広報・広聴活動	-13.0

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

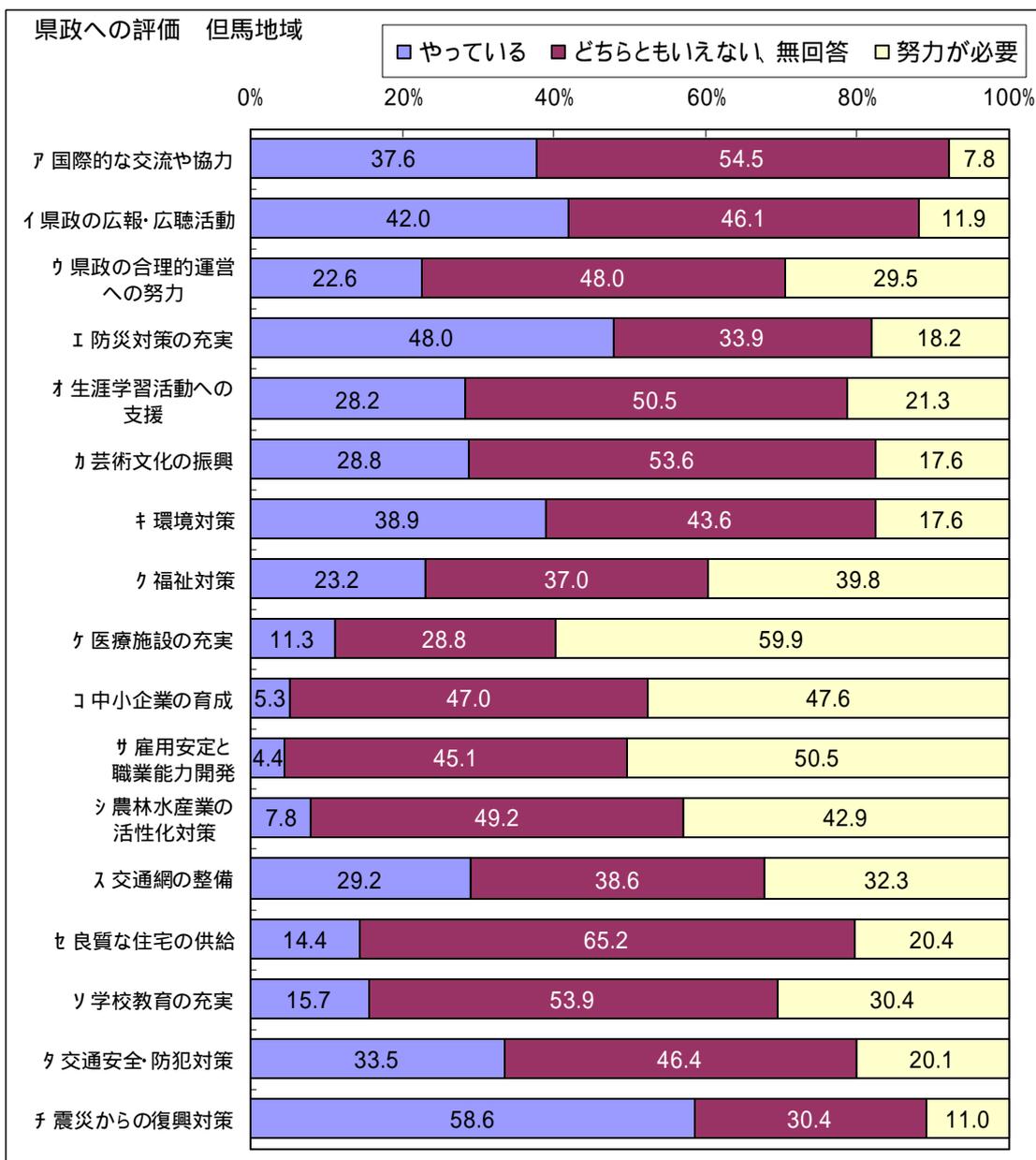
「努力が必要」	増減
ス 交通網の整備	8.8
カ 芸術文化の振興	5.6
サ 雇用安定と職業能力開発	5.3
イ 県政の広報・広聴活動	4.2
エ 防災対策の充実	4.1
ウ 県政の合理的運営への努力	3.0
ケ 医療施設の充実	2.5
オ 生涯学習活動への支援	2.4
コ 中小企業の育成	0.7
ア 国際的な交流や協力	-0.5
チ 震災からの復興対策	-0.6
タ 交通安全・防犯対策	-0.9
シ 農林水産業の活性化対策	-1.3
キ 環境対策	-1.4
ク 福祉対策	-1.7
セ 良質な住宅の供給	-1.7
ソ 学校教育の充実	-2.6

《但馬》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(58.6%)で6割近くと最も多く、「エ 防災対策の充実」(48.0%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(42.0%)が4割台で続いている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(59.9%)で約6割と最も多く、「サ 雇用安定と職業能力開発」(50.5%)、「コ 中小企業の育成」(47.6%)、「シ 農林水産業の活性化対策」(42.9%)、「ク 福祉対策」(39.8%)の順で続いている。

17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



但馬で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」(10.1ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(8.8ポイント)、「キ 環境対策」(8.1ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(7.6ポイント)など13項目となっている。

『努力が必要』は、全県結果を「ケ 医療施設の充実」で17.0ポイント、「ス 交通網の整備」(11.8ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(10.7ポイント)、「コ 中小企業の育成」(10.1ポイント)の3項目で10ポイント以上上回るなど、8項目で全県結果を上回っている。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(9.6ポイント)、「ウ 県政の合理的運営への協力」(2.4ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(2.1ポイント)など7項目である。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「カ 芸術文化の振興」(3.4ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(3.1ポイント)の2項目である。一方、「キ 環境対策」は前年より10.7ポイント減少している。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	10.1
チ 震災からの復興対策	8.8
キ 環境対策	8.1
タ 交通安全・防犯対策	7.6
ウ 県政の合理的運営への努力	7.0
オ 生涯学習活動への支援	6.7
ク 福祉対策	5.5
ア 国際的な交流や協力	5.0
イ 県政の広報・広聴活動	4.2
ソ 学校教育の充実	2.2
シ 農林水産業の活性化対策	1.7
カ 芸術文化の振興	0.4
コ 中小企業の育成	0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.1
セ 良質な住宅の供給	-2.5
ケ 医療施設の充実	-6.8
ス 交通網の整備	-7.8

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	17.0
ス 交通網の整備	11.8
シ 農林水産業の活性化対策	10.7
コ 中小企業の育成	10.1
サ 雇用安定と職業能力開発	6.2
ク 福祉対策	1.3
オ 生涯学習活動への支援	0.4
ウ 県政の合理的運営への努力	0.1
セ 良質な住宅の供給	0.0
カ 芸術文化の振興	0.0
ソ 学校教育の充実	-2.3
チ 震災からの復興対策	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-4.2
エ 防災対策の充実	-4.6
キ 環境対策	-5.0
イ 県政の広報・広聴活動	-5.1
タ 交通安全・防犯対策	-9.8

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	9.6
ウ 県政の合理的運営への努力	2.4
チ 震災からの復興対策	2.1
ケ 医療施設の充実	1.2
セ 良質な住宅の供給	0.3
コ 中小企業の育成	0.3
タ 交通安全・防犯対策	0.2
エ 防災対策の充実	-1.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.7
オ 生涯学習活動への支援	-2.1
ス 交通網の整備	-2.2
ソ 学校教育の充実	-2.5
シ 農林水産業の活性化対策	-3.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
ク 福祉対策	-5.1
ア 国際的な交流や協力	-6.8
カ 芸術文化の振興	-7.5

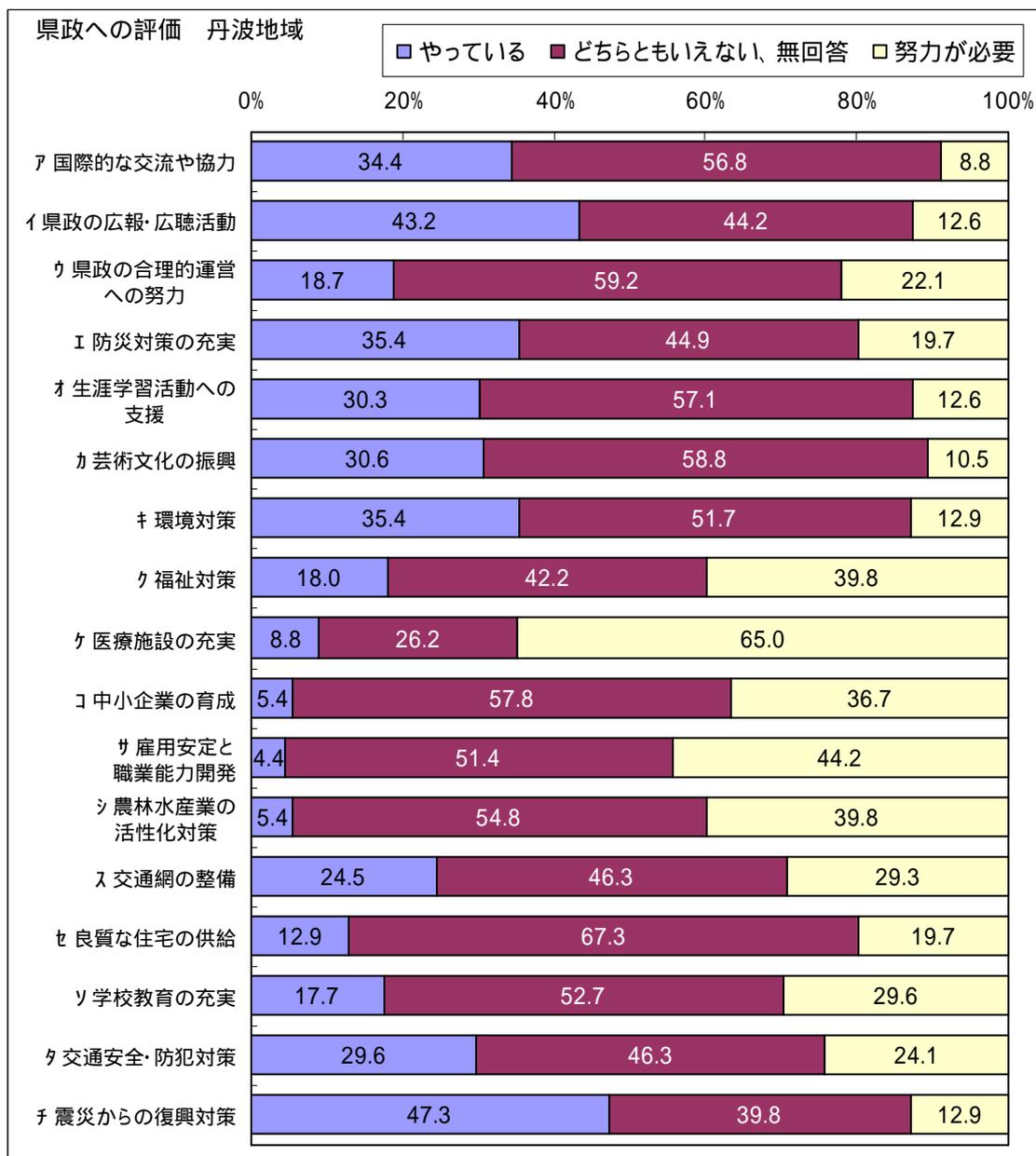
県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
カ 芸術文化の振興	3.4
オ 生涯学習活動への支援	3.1
シ 農林水産業の活性化対策	-0.5
コ 中小企業の育成	-0.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.8
エ 防災対策の充実	-1.0
ア 国際的な交流や協力	-1.3
ス 交通網の整備	-3.1
チ 震災からの復興対策	-3.2
ク 福祉対策	-3.6
セ 良質な住宅の供給	-4.9
ソ 学校教育の充実	-4.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-6.1
イ 県政の広報・広聴活動	-6.3
ケ 医療施設の充実	-7.8
タ 交通安全・防犯対策	-9.2
キ 環境対策	-10.7

《丹波》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(47.3%)で5割近くと最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(43.2%)、「エ 防災対策の充実」、「キ 環境対策」(ともに35.4%)の順で続いている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」(65.0%)が6割半ばと最も多く、「サ 雇用安定と職業能力開発」(44.2%)、「ク 福祉対策」、「シ 農林水産業の活性化対策」(ともに39.8%)が続いている。17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



丹波で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(8.8ポイント)、
「イ 県政の広報・広聴活動」(5.4ポイント)、「キ 環境対策」(4.6ポイント)など10項目である。一方、
「ス 交通網の整備」では全県結果を12.5ポイント下回っている。

『努力が必要』は、「ケ 医療施設の充実」で全県結果を22.1ポイント上回っており、「ス 交通網の整備」
(8.8ポイント)、「シ 農林水産業の活性化」(7.6ポイント)、「ク 福祉対策」(1.3ポイント)の計4項目で
全県結果を上回っている。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(7.0ポイント)、「ケ 医療施設の充実」
(0.5ポイント)の2項目である。一方、「ス 交通網の整備」は前年より10.5ポイント減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(4.3ポイント)、「シ 農林水産業
の活性化対策」(3.1ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(1.4ポイント)など6項目である。一方、「キ 環
境対策」は前年より12.1ポイント減少している。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	8.8
イ 県政の広報・広聴活動	5.4
キ 環境対策	4.6
ソ 学校教育の充実	4.2
タ 交通安全・防犯対策	3.7
ウ 県政の合理的運営への努力	3.1
カ 芸術文化の振興	2.2
ア 国際的な交流や協力	1.7
コ 中小企業の育成	0.4
ク 福祉対策	0.3
シ 農林水産業の活性化対策	-0.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.1
イ 防災対策の充実	-2.5
フ 震災からの復興対策	-2.5
セ 良質な住宅の供給	-4.0
ケ 医療施設の充実	-9.3
ス 交通網の整備	-12.5

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	22.1
ス 交通網の整備	8.8
シ 農林水産業の活性化対策	7.6
ク 福祉対策	1.3
サ 雇用安定と職業能力開発	0.0
セ 良質な住宅の供給	-0.6
コ 中小企業の育成	-0.8
フ 震災からの復興対策	-1.1
イ 防災対策の充実	-3.1
ソ 学校教育の充実	-3.1
ア 国際的な交流や協力	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.4
タ 交通安全・防犯対策	-5.7
カ 芸術文化の振興	-7.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-7.3
オ 生涯学習活動への支援	-8.3
キ 環境対策	-9.6

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	7.0
ケ 医療施設の充実	0.5
コ 中小企業の育成	-1.2
タ 交通安全・防犯対策	-2.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.2
ソ 学校教育の充実	-2.3
フ 震災からの復興対策	-2.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-3.1
セ 良質な住宅の供給	-5.4
ア 国際的な交流や協力	-5.6
カ 芸術文化の振興	-6.1
ク 福祉対策	-7.0
シ 農林水産業の活性化対策	-7.9
イ 防災対策の充実	-8.0
イ 県政の広報・広聴活動	-8.5
ス 交通網の整備	-10.5

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

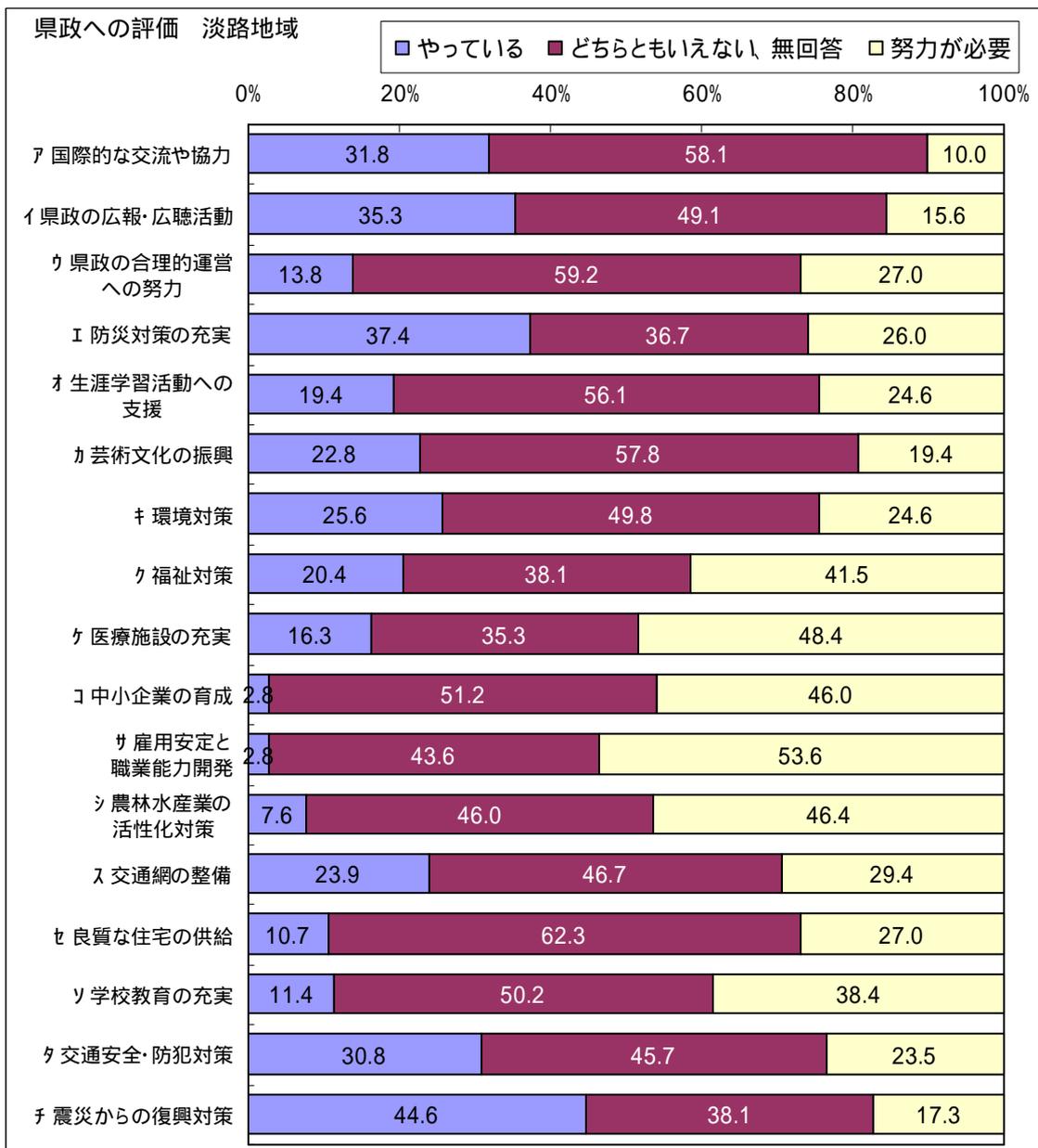
「努力が必要」	増減
ス 交通網の整備	4.3
シ 農林水産業の活性化対策	3.1
セ 良質な住宅の供給	1.4
サ 雇用安定と職業能力開発	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.5
コ 中小企業の育成	0.1
ク 福祉対策	-0.2
イ 防災対策の充実	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.1
フ 震災からの復興対策	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.9
ケ 医療施設の充実	-3.4
ソ 学校教育の充実	-5.4
タ 交通安全・防犯対策	-5.9
キ 環境対策	-12.1

《淡路》

『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(44.6%)で最も多く、「エ 防災対策の充実」((37.4%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(35.3%)、「ア 国際的な交流や協力」(31.8%)、「タ 交通安全・防犯対策」(30.8%)が3割台で続いている。

『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(53.6%)で5割を超えて最も多く、「ケ 医療施設の充実」(48.4%)、「シ 農林水産業の活性化対策」(46.4%)、「コ 中小企業の育成」(46.0%)、「ク 福祉対策」(41.5%)が4割台で続いている。

17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



淡路で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「タ 交通安全・防犯対策」(4.9ポイント)、「ク 福祉対策」(2.7ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(1.5ポイント)の3項目である。一方、「ス 交通網の整備」では全県結果を13.1ポイント下回っている。

『努力が必要』は、「シ 農林水産業の活性化対策」で全県結果を14.1ポイント上回っており、「サ 雇用安定と職業能力開発」(9.4%)、「ス 交通網の整備」(8.9ポイント)、「コ 中小企業の育成」(8.5ポイント)など13項目で全県結果を上回っている。

『やっている』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(1.9ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(0.8ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(0.6ポイント)の3項目である。一方、「ス 交通網の整備」は前年より12.4ポイント減少している。

『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(9.4ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(8.9ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(8.4ポイント)など13項目である。

県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
タ 交通安全・防犯対策	4.9
ク 福祉対策	2.7
シ 農林水産業の活性化対策	1.5
イ 防災対策の充実	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.7
ケ 医療施設の充実	-1.8
ソ 学校教育の充実	-2.0
オ 生涯学習活動への支援	-2.1
コ 中小企業の育成	-2.3
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.8
チ 震災からの復興対策	-5.2
キ 環境対策	-5.2
カ 芸術文化の振興	-5.6
セ 良質な住宅の供給	-6.2
入 交通網の整備	-13.1

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
シ 農林水産業の活性化対策	14.1
サ 雇用安定と職業能力開発	9.4
ス 交通網の整備	8.9
コ 中小企業の育成	8.5
セ 良質な住宅の供給	6.6
ソ 学校教育の充実	5.7
ケ 医療施設の充実	5.6
オ 生涯学習活動への支援	3.7
チ 震災からの復興対策	3.3
イ 防災対策の充実	3.2
ク 福祉対策	3.0
キ 環境対策	2.0
カ 芸術文化の振興	1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-2.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.4
タ 交通安全・防犯対策	-6.3

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
キ 環境対策	1.9
タ 交通安全・防犯対策	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.6
チ 震災からの復興対策	-4.1
カ 芸術文化の振興	-4.7
ソ 学校教育の充実	-4.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.9
セ 良質な住宅の供給	-5.5
オ 生涯学習活動への支援	-5.6
シ 農林水産業の活性化対策	-6.1
ク 福祉対策	-7.1
コ 中小企業の育成	-7.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-7.2
ケ 医療施設の充実	-7.5
イ 防災対策の充実	-7.6
イ 県政の広報・広聴活動	-9.7
入 交通網の整備	-12.4

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
入 交通網の整備	9.4
シ 農林水産業の活性化対策	8.9
ソ 学校教育の充実	8.4
ケ 医療施設の充実	7.2
サ 雇用安定と職業能力開発	6.1
イ 防災対策の充実	6.0
ク 福祉対策	5.3
コ 中小企業の育成	4.8
オ 生涯学習活動への支援	4.6
セ 良質な住宅の供給	4.5
カ 芸術文化の振興	3.1
チ 震災からの復興対策	2.3
キ 環境対策	2.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-1.2
タ 交通安全・防犯対策	-2.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.0